

Q001 6-1 / 6-1-1

難易度: 基礎

単線図・複線図・端子台の読み取り

令和8年度第一種電気工事士技能試験の候補問題に示される配線図について、読み方として正しいものはどれか。

ア：単線図で示されているが、実際に必要な電線本数は回路構成と施工条件から判断する。

イ：線が1本で描かれている区間は、必ず心線も1本だけ使用する。

ウ：候補問題の図は機器配置だけを示し、回路関係は示さない。

エ：複線図を自分で作することは禁止されている。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：候補問題には、電線本数にかかわらず配線図を単線図で示す旨が明記されている。

イ：単線図の線の本数と実際の心線本数は一致するとは限らない。

ウ：候補問題の配線図は回路構成を読み取るための重要な情報である。

エ：作業計画として複線化して整理すること自体は禁止されていない。

総合解説：技能試験では単線図を見て、施工条件・器具端子・電源方式を組み合わせる必要な接続を具体化する。

Q002 6-1 / 6-1-1

難易度: 基礎

単線図・複線図・端子台の読み取り

技能試験で変圧器や開閉器などの実機の代わりに端子台が支給された場合、最も適切な対応はどれか。

ア：端子台の端子はすべて内部で短絡されているものとして結線する。

イ：問題に示された端子台説明図・内部結線・施工条件を確認して結線する。

ウ：実機ではないため、端子番号や極性は無視してよい。

エ：端子台は外観だけを再現する材料なので、電線を接続しない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：端子台の内部結線は問題ごとに説明図で示されるため、勝手に短絡とみなせない。

イ：試験センターは、機器・器具を端子台で代用する場合があると明示している。

ウ：代用品でも指定された端子への正しい結線が必要である。

エ：技能試験では端子台へ実際に結線する。

総合解説：端子台は実機の機能関係を試験机上で再現するための代用品であり、説明図を読む能力が問われる。

Q003 6-1 / 6-1-1

難易度: 基礎

単線図・複線図・端子台の読み取り

変圧器代用端子台の説明図に「一次側 6,600V」「二次側 210/105V」とある。結線前の判断として正しいものはどれか。

- ア：一次側と二次側は電圧が違うだけなので端子を入れ替えても同じである。
- イ：二次側は必ず端子2個だけなので説明図を見る必要はない。
- ウ：一次側と二次側の端子記号・内部結線を区別し、問題の結線図どおりに接続する。
- エ：6,600Vの表示は材料の耐電圧だけを示し、回路とは無関係である。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

- ア：一次・二次の役割と端子は異なり、入替えは誤結線になる。
 - イ：センタータップを含む端子構成などがあり、説明図の確認が必要である。
 - ウ：令和8年度実施問題では、変圧器代用端子台に一次側6,600V、二次側210/105Vの説明が示されている。
 - エ：一次側の回路条件を示す重要な情報である。
- 総合解説：変圧器代用端子台では、端子名称だけでなく一次・二次、センタータップ、電圧関係をセットで読む。

Q004 6-1 / 6-1-1

難易度: 標準

単線図・複線図・端子台の読み取り

施工条件で、3路スイッチの端子0には電源側または負荷側、端子1と3にはスイッチ相互間の電線を接続するよう指定されている。正しい結線方針はどれか。

- ア：端子0・1・3をすべて同一線で短絡する。
- イ：端子1だけを電源側と負荷側の双方に使い、端子0は未使用とする。
- ウ：端子番号は器具識別用だけなので、どの端子へ接続してもよい。
- エ：端子0を共通側として扱い、端子1・3を2本の渡り線に用いる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

- ア：3路回路として機能しなくなる。
 - イ：指定された端子役割に反する。
 - ウ：施工条件に従った端子選択が必要である。
 - エ：令和8年度実施問題の施工条件に示された3路スイッチの接続方法に一致する。
- 総合解説：3路スイッチでは共通端子と2本の渡り端子を正しく識別することが、複線化と誤結線防止の基本になる。

Q005 6-1 / 6-1-1

難易度: 標準

単線図・複線図・端子台の読み取り

技能試験の施工条件で、コンセントの接地側極端子に「W」と表示されている。通常、その端子へ接続するよう指定される電線色はどれか。

- ア：白色。
- イ：緑色。
- ウ：赤色。
- エ：黒色。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度実施問題では、接地側電線を白色とし、W表示端子へ白色電線を結線する条件が示されている。

イ：緑色は接地線として指定される。

ウ：三相回路の相識別等で用いられる場合があり、W端子の接地側電線とは異なる。

エ：黒色は非接地側電線として指定されることが多い。

総合解説：W表示は接地側極を読み取る重要な手掛かりであり、施工条件の色別指定と組み合わせて判断する。

Q006 6-1 / 6-1-1

難易度: 標準

単線図・複線図・端子台の読み取り

配線図の一部に「施工省略」と表示されている。技能試験での扱いとして正しいものはどれか。

ア：施工省略の表示がある回路は、図から完全に無視してよい。

イ：その表示部分の施工は行わないが、回路全体を理解するための図示情報としては読む。

ウ：施工省略部分も支給材料で必ず作り込む。

エ：施工省略は『採点しないので自由施工』という意味である。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：回路の電源・負荷関係を理解するうえで図示内容は必要になる場合がある。

イ：候補問題・実施問題では、施工を省略する部分が明示される。

ウ：問題で省略と指定された工事を追加するのは不適切である。

エ：自由施工ではなく、指定どおり省略する。

総合解説：技能試験では、図面上の回路理解と、実際に施工する範囲を分けて読む必要がある。

Q007 6-1 / 6-1-1

難易度: 標準

単線図・複線図・端子台の読み取り

タイムスイッチや自動点滅器を端子台で代用する問題で、最初に確認すべき情報として最も重要なものはどれか。

ア：端子台の外形寸法だけ。

イ：端子ねじの色だけ。

ウ：端子台説明図に示された端子記号と内部結線。

エ：端子台のメーカー名だけ。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：外形だけでは回路機能を判断できない。

イ：色だけを根拠に機能を決めることはできない。

ウ：令和8年度実施問題No.9では、タイムスイッチ・自動点滅器の代用端子台に内部結線が示されている。

エ：試験では問題文の説明図・施工条件が優先される。

総合解説：代用端子台は内部結線を読み違えると回路全体が誤結線になるため、端子記号と機能を先に整理する。

Q008 6-1 / 6-1-1

難易度: 標準

単線図・複線図・端子台の読み取り

配線図に「1φ2W 100V」と「3φ3W 200V」が併記されている。読解として最も適切なものはどれか。

ア：どちらも線間電圧だけ違う同一の2線回路として扱う。

イ：3φ3Wは接地線を含めて3本という意味である。

ウ：電源方式は器具選定だけに関係し、配線には影響しない。

エ：単相2線式と三相3線式を区別し、それぞれの電源方式に応じて必要な心線・端子・負荷接続を判断する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：3φ3Wは3線式であり、1φ2Wとは回路構成が異なる。

イ：3φ3Wの3Wは三相回路の3本の電路を示し、保護接地線を数えた表記ではない。

ウ：電線本数や端子接続に直接影響する。

エ：候補問題には単相・三相の電源方式が明記され、回路読解の前提になる。

総合解説：電源方式の表記は複線化の出発点であり、線数と相の関係を正しく読む必要がある。

Q009 6-1 / 6-1-1

難易度: 応用

単線図・複線図・端子台の読み取り

変圧器代用端子台の二次側に u-o-v があり、210/105Vと示されている。100V級回路と200V級回路を取り出す際の考え方として最も適切なものはどれか。

ア：oを中性点側として、u-oまたはo-vで約105V、u-vで約210Vの関係を読み取る。

イ：u-o-vのどの2端子間も常に同じ210Vである。

ウ：o端子は高圧一次側の接地端子であり二次回路に関係しない。

エ：u-v間は0Vとして扱う。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度実施問題の変圧器代用端子台は、210/105Vの二次側端子関係を説明図で示している。

イ：センタータップを含むため端子間電圧は同一ではない。

ウ：oは二次側の中性点として示される。

エ：u-v間は二次全巻線の電圧になる。

総合解説：端子記号と電圧関係を読めれば、100V・200V回路の取り出し方を図面から判断できる。

Q010 6-1 / 6-1-1

難易度: 応用

単線図・複線図・端子台の読み取り

候補問題を繰り返し練習した受験者が、試験当日の端子台説明図が練習時と一部異なることに気付いた。最も適切な対応はどれか。

ア：練習時の結線を優先し、当日の説明図は無視する。

イ：当日の試験問題に示された配線図・端子台説明図・施工条件を優先して結線する。

ウ：候補問題と違うので作業を中止し、自由な結線にする。

エ：端子台は代用品なので、端子記号の違いは採点対象にならない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：当日の指示と異なれば誤施工になる。

イ：候補問題の公表資料は、配置や詳細が変更される場合があり、詳細は試験問題に明記するとしている。

ウ：当日の問題に従って施工する必要がある。

エ：端子台の指定結線は採点対象となる。

総合解説：候補問題は練習の基礎だが、本番では当日の施工条件が最優先である。暗記だけでなく図面読解能力が必要になる。

Q011 6-1 / 6-1-2

難易度: 基礎

電線本数・接続点・結線計画

施工条件に「ジョイントボックス部分を経由する電線は、その部分ですべて接続箇所を設ける」とある。正しい施工計画はどれか。

- ア：途中接続を避けるため、条件にかかわらず全部を一本物で通す。
- イ：接地線だけ接続し、他の電線は通過させる。
- ウ：そのボックスを通過する指定電線について、条件どおりボックス内に接続点を設ける。
- エ：ボックス内では接続禁止なので、すべて器具端子で接続する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

- ア：施工条件と相違する。
 - イ：『すべて接続箇所』の指定に反する。
 - ウ：令和8年度実施問題では、ジョイントボックスごとに接続箇所を設ける条件が示されている。
 - エ：問題はボックス内接続を要求している。
- 総合解説：結線計画では『どこで接続するか』も施工条件で指定されるため、接続点を先に整理する。

Q012 6-1 / 6-1-2

難易度: 基礎

電線本数・接続点・結線計画

ある問題で、ジョイント部Aはリングスリーブ、ジョイント部Bは差込形コネクタで接続すると指定されている。正しい対応はどれか。

- ア：作業しやすい方の接続方法へ全箇所を統一する。
- イ：AとBの接続方法を入れ替える。
- ウ：リングスリーブと差込形コネクタを同一接続点で併用する。
- エ：AとBで指定された接続方法を使い分ける。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

- ア：接続方法が施工条件に相違すれば不適切である。
 - イ：指定と逆になる。
 - ウ：問題の指定方法に従って一つの適切な接続方法を用いる。
 - エ：令和8年度実施問題では、接続箇所ごとにリングスリーブまたは差込形コネクタを指定する例がある。
- 総合解説：結線計画では接続点の場所だけでなく、その場所で許される接続方法も図面へ書き込んでおくといふ。

Q013 6-1 / 6-1-2

難易度: 基礎

電線本数・接続点・結線計画

2個の3路スイッチで1灯を点滅させる基本回路を複線化する。スイッチ相互間に必要となる関係として正しいものはどれか。

- ア：2本の渡り線で、両スイッチの対応する渡り端子を結ぶ。
- イ：スイッチ間は電線1本だけでよい。
- ウ：スイッチ間は接地線だけを接続する。
- エ：端子0同士だけを直接接続し、端子1と3は使用しない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：3路スイッチの端子1と3はスイッチ相互間の電線を結線する指定例がある。

イ：2つの切替接点を構成するため2本の渡り線が必要である。

ウ：接地線は3路回路の切替機能を構成しない。

エ：基本的な3路回路にならない。

総合解説：3路回路の複線化では、共通端子と2本の渡り線を区別して電線本数を数える。

Q014 6-1 / 6-1-2

難易度: 標準

電線本数・接続点・結線計画

施工条件に「電源からスイッチに至る電源側電線には2心ケーブル1本を使用する」とある。適切な計画はどれか。

- ア：3心ケーブルを使い、1心を未使用にしても必ず同じと考える。
- イ：その区間の必要な2本の電路を、指定された2心ケーブル1本で構成する。
- ウ：2心ケーブルを2本並列に使う。
- エ：単線2本をばら配線すれば条件と同じとみなす。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：支給材料・施工条件の指定と相違する可能性がある。

イ：実施問題では、区間ごとに2心ケーブル1本などの具体的な使用条件が示される。

ウ：指定の本数と異なる。

エ：ケーブル種類・本数の指定に従う必要がある。

総合解説：技能試験では電氣的に成立するだけでなく、指定されたケーブル種類・心数・本数に従うことが必要である。

Q015 6-1 / 6-1-2

難易度: 標準

電線本数・接続点・結線計画

3φ3Wの電源回路を配線する場合、保護接地線を別に考えると、電力回路として基本となる導体本数はいくつか。

ア：1本。単相1線式と同様に考える。

イ：2本。単相2線式の導体数を当てはめる。

ウ：3本。3φ3Wの「3W」を電力回路の導体数として読む。

エ：4本。保護接地線を電力回路のW数へ加える。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：三相3線式には3本の電力導体が必要である。

イ：2本では三相3線式の各相間関係を構成できない。

ウ：3φ3Wは三相3線式を表し、技能候補問題でも3本の相導体を扱う例がある。

エ：3φ3WのWは3線を示す。保護接地線はこの表記に含めない。

総合解説：電源方式の表記から必要な主回路導体数を即座に判断できることは、材料切断前の計画で重要である。

Q016 6-1 / 6-1-2

難易度: 標準

電線本数・接続点・結線計画

1φ2W 100Vのコンセント回路で、接地極への接地線も施工する。電路と保護接地線の関係として正しいものはどれか。

ア：2Wのうち1本が保護接地線なので、電源は残り1本だけでよい。

イ：保護接地線と接地側電線は同じ役割なので、必ず共用する。

ウ：接地極付コンセントでも接地線を接続してはならない。

エ：電路は接地側・非接地側の2本で構成し、保護接地線はそれらとは別に接地極端子へ接続する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：2Wは電路の2本を示し、保護接地線を含めた表記ではない。

イ：保護接地線と回路の接地側電線は目的が異なる。

ウ：施工条件で指定された接地線を正しく接続する。

エ：実施問題では、1φ2W回路の電源線と緑色の接地線を区別して施工する。

総合解説：『接地側電線』と『接地線』を混同すると、色別や接続先を誤りやすい。

Q017 6-1 / 6-1-2

難易度: 標準

電線本数・接続点・結線計画

ジョイントボックスで複数の黒色電線が集まった。結線計画として最も適切なものはどれか。

ア：色だけで一括接続せず、回路機能・端子行先・施工条件を確認して同一電位となる電線だけを接続する。

イ：黒色同士は必ず全部同一電位なので一つにまとめる。

ウ：色は一切確認せず、長さが近い電線同士を接続する。

エ：ジョイント部では端子行先を確認する必要はない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：技能試験では色別だけでなく、回路を的確に構成する能力が重視されている。

イ：黒色でもスイッチ返り線や別相など役割が異なる場合がある。

ウ：行先と機能の確認が必要である。

エ：誤接続・誤結線を防ぐため確認が重要である。

総合解説：色別は判断材料の一つであり、回路機能と施工条件を合わせて接続対象を決める。

Q018 6-1 / 6-1-2

難易度: 標準

電線本数・接続点・結線計画

施工条件に「ジョイントボックスは打抜き済みの穴だけをすべて使用すること」とある。最も適切な作業計画はどれか。

ア：使いやすい穴だけを選び、残りは未使用にする。

イ：各ケーブルの経路を先に割り当て、打抜き済み穴を余らせず、追加の穴も作らない。

ウ：足りない場合に備え、最初に新しい穴を追加加工する。

エ：穴の使用条件は採点に関係しないので考えなくてよい。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：『すべて使用』の条件に反する。

イ：令和8年度実施問題に同趣旨の施工条件がある。

ウ：打抜き済み穴だけを使用する指定に反する。

エ：施工条件を遵守する能力が採点対象となる。

総合解説：ボックス周りは電線経路と穴数を先に対応させると、途中で材料長や経路が不足する事故を防げる。

Q019 6-1 / 6-1-2

難易度: 応用

電線本数・接続点・結線計画

技能試験で複数区間に同じ種類のケーブルを使う。切断を始める前の計画として最も適切なものはどれか。

ア：最長区間へ先に材料の大半を使い、残り区間は後で考える。

イ：寸法は完成後に合わせればよいので、すべて半分に切る。

ウ：材料表の総長、各区間の指定寸法、器具への引込み・結線に必要な長さを確認し、全区間へ配分してから切断する。

エ：不足したら持参したケーブルを使用する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：後半で材料不足になるおそれがある。

イ：指定寸法・配置条件へ適合できなくなる可能性が高い。

ウ：技能試験では支給材料のみで完成させ、開始後は一部を除き材料交換・追加支給がないため、計画的な切断が重要である。

エ：支給品以外の材料は使用できない。

総合解説：施工前に材料配分表を頭の中またはメモで整理し、切り直しを最小化することが時間管理にも直結する。

Q020 6-1 / 6-1-2

難易度: 応用

電線本数・接続点・結線計画

複雑な候補問題を60分で施工するため、複線化と電線本数の計画を行う。合理的な順序として最も適切なものはどれか。

ア：電線を先に全部切断し、余った心線で回路を考える。

イ：器具の外観だけで心線数を決め、電源方式は最後に確認する。

ウ：接続点は完成後に見た目で決める。

エ：電源・負荷・スイッチ機能を確認し、接続点と端子行先を決め、その後に区間ごとの必要心線数を数える。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：回路理解前の切断は材料不足や心線数不足を招きやすい。

イ：電源方式は心線数を決める前提である。

ウ：接続点は施工条件・回路機能に基づき事前に決めるべきである。

エ：技能試験が重視する『回路を的確に構成する能力』『配線図や施工条件を理解する能力』に沿う。

総合解説：回路→接続点→端子→心線数という順序で整理すると、結線漏れや不要な電線を減らせる。

Q021 6-1 / 6-1-3

難易度: 基礎

高圧受電・制御回路の施工条件読解

令和8年度第一種電気工事士技能試験の実施問題で、6,600V側の配線材料として使用例があるものはどれか。

ア：KIP 8mm²の高圧絶縁電線。

イ：VVF 1.6mm-2Cだけ。

ウ：平形ビニルコードだけ。

エ：LANケーブルだけ。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度実施問題No.1・No.5・No.9の材料表と配線図にKIP 8mm²が示されている。

イ：VVFは低圧側で使われる例があり、6,600V側の高圧絶縁電線としてはKIPが支給されている。

ウ：候補問題の6,600V側材料ではない。

エ：電力配線の高圧材料ではない。

総合解説：第一種技能試験では、第二種よりも高圧受電設備を意識したKIP等の材料・端子台読解が特徴となる。

Q022 6-1 / 6-1-3

難易度: 基礎

高圧受電・制御回路の施工条件読解

3相変圧器代用端子台の説明に「一次側6,600V、二次側210V」とある。施工条件読解として正しいものはどれか。

ア：一次・二次を同じ端子群として扱い、空いている端子へ接続する。

イ：高圧側と低圧側を端子記号で区別し、指定された相順・色別・接地線条件に従って結線する。

ウ：二次側が210Vなので接地線や色別は無視できる。

エ：端子台は代用品なので高圧側の表示は無意味である。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：一次・二次を混同すると重大な誤結線になる。

イ：令和8年度実施問題No.5では、6,600V/210Vの変圧器代用端子台が示されている。

ウ：施工条件で指定されていれば遵守する必要がある。

エ：高圧受電回路の機能を模擬する重要な表示である。

総合解説：高圧受電の問題では、電圧・相・端子記号・色別を一体で読む。

Q023 6-1 / 6-1-3

難易度: 基礎

高圧受電・制御回路の施工条件読解

候補問題の配線図にE、EB、EDなどの接地に関する表示がある場合の基本姿勢として、最も適切なものはどれか。

ア：Eがある箇所はすべて同じ太さの緑線で無条件に施工する。

イ：EBやEDの記号は装飾なので無視する。

ウ：表示だけで一律に施工せず、その年の実施問題で明記される接地工事の範囲・接地線・省略条件に従う。

エ：接地工事は技能試験の出題範囲外である。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：接地線の太さや施工範囲は問題ごとの指定を確認する必要がある。

イ：接地種別や接地回路の理解に関係する表示である。

ウ：令和8年度候補問題は、Eに係る接地工事などについて出題時に明記としている。

エ：第一種技能試験の出題事項に接地工事が含まれる。

総合解説：候補図を暗記するのではなく、当日の施工条件でどの接地工事を実施・省略するかを確認する。

Q024 6-1 / 6-1-3

難易度: 標準

高圧受電・制御回路の施工条件読解

3φ3W 6,600Vの高圧側で、配線図にKIP 8×3と示されている。正しい解釈はどれか。

ア：KIPを1本だけ使い、3相を時間で切り替える。

イ：2本のKIPと1本の接地線で3φ3Wを構成する。

ウ：KIP 8を3m使うという意味である。

エ：3相3線の各相に対応するKIP高圧絶縁電線を3本使用する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：3φ3Wの主回路として成立しない。

イ：保護接地線は三相の相導体の代わりにはならない。

ウ：×3は本数を表す文脈で用いられている。

エ：令和8年度実施問題No.5では、高圧側にKIP 8×3の表示がある。

総合解説：図面の『材料サイズ×本数』表示と、電源方式の線数を対応付けて読む。

Q025 6-1 / 6-1-3

難易度: 標準

高圧受電・制御回路の施工条件読解

候補問題の高圧受電回路に「CT×2」と電流計Aが示されている。読解として最も適切なものはどれか。

ア：CTは主回路電流を計器用の電流へ変換して電流計回路へ情報を与える機器として読む。

イ：CTは主回路を機械的に開閉する遮断器として読む。

ウ：Aは避雷器を表すため、CTとは無関係である。

エ：CTは接地線の色を変更する器具である。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度候補問題にはCT×2と電流計Aを組み合わせた受電回路例がある。

イ：CTは変流器であり遮断器ではない。

ウ：この文脈のAは電流計として示されている。

エ：変流器の役割ではない。

総合解説：高圧受電の配線図では、主回路機器と計測・制御機器を分けて機能を読むことが重要である。

Q026 6-1 / 6-1-3

難易度: 標準

高圧受電・制御回路の施工条件読解

配線図にVCBと「VCB補助接点」が別に示されている。制御回路読解として正しいものはどれか。

ア：補助接点に高圧主回路電流を直接流して負荷へ給電する。

イ：VCB補助接点は遮断器の状態に連動して制御・表示回路で用いる接点として読む。

ウ：補助接点は接地極そのものである。

エ：VCB本体と補助接点は無関係なので状態連動しない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：補助接点は主回路遮断用の接点ではない。

イ：令和8年度候補問題にはVCBとVCB補助接点を用いた制御・表示回路例がある。

ウ：接地設備ではない。

エ：補助接点はVCBの状態に連動する。

総合解説：主回路の遮断機能と、補助接点を使う表示・制御機能を分けて読むとシーケンスを理解しやすい。

Q027 6-1 / 6-1-3

難易度: 標準

高圧受電・制御回路の施工条件読解

施工条件で、変圧器二次側のR相を赤色、S相を白色、T相を黒色と指定している。正しい施工はどれか。

ア：一般的な自分の色分け習慣を優先し、指定は無視する。

イ：3本とも同じ色に統一する。

ウ：端子記号と相を確認し、R=赤、S=白、T=黒の指定どおりに結線する。

エ：R・S・Tの端子は自由に入れ替えてよい。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：技能試験では当日の施工条件が優先される。

イ：色別条件に反する。

ウ：令和8年度実施問題No.5に、この三相二次側の色別条件が示されている。

エ：相と端子の対応を守る必要がある。

総合解説：色別は単なる見た目ではなく、回路識別と誤結線防止の条件として採点対象になる。

Q028 6-1 / 6-1-3

難易度: 標準

高圧受電・制御回路の施工条件読解

三相二次回路の施工条件に「他の負荷はS相とT相間に接続する」とある。正しい対応はどれか。

ア：R-S相間へ接続しても線間電圧が同じなら施工条件上同一である。

イ：R-T相間だけが常に正解である。

ウ：一相だけへ接続し、もう一端は接地線へつなく。

エ：負荷の2端子をS相とT相に接続し、他の相間へ勝手に変更しない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：電気の電圧が同じでも、指定相間と異なれば施工条件違反になる。

イ：問題の指定はS-T相間である。

ウ：相間負荷の接続として不適切である。

エ：令和8年度実施問題No.5では、他の負荷をS-T相間へ接続する指定がある。

総合解説：技能試験では電圧が成立するだけでは不十分で、指定された相・端子へ正確に接続する必要がある。

Q029 6-1 / 6-1-3

難易度: 応用

高圧受電・制御回路の施工条件読解

施工条件で「電源表示灯はS-T相間、運転表示灯はY-Z端子間」と指定されている。作業前の整理として最も適切なものはどれか。

ア：表示灯ごとに接続先を別々に整理し、S-TとY-Zを取り違えないよう端子行先をマーキングする。

イ：両表示灯を同じ2端子へ並列接続すればよい。

ウ：表示灯は極性がないので、どの相・端子へ接続しても同じである。

エ：運転表示灯を高圧6,600V主回路へ直接接続する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度実施問題No.5では、電源表示灯と運転表示灯に異なる接続先が指定される。

イ：指定された機能・接続先が異なる。

ウ：点灯条件を作る回路接続が重要である。

エ：技能問題の制御・表示回路の指定と異なる。

総合解説：表示灯は『何を表示するか』によって接続すべき回路が異なるため、端子記号を機能ごとに整理する。

Q030 6-1 / 6-1-3

難易度: 応用

高圧受電・制御回路の施工条件読解

令和8年度候補問題を学習する際の方法として、試験センターの公表内容に最も合うものはどれか。

ア：候補図の寸法・端子配置を丸暗記すれば、当日の問題文は読まなくてよい。

イ：候補問題No.1～10の回路構成を練習しつつ、配置や施工条件の詳細は本番で変更され得るため、当日図面を読み直す訓練をする。

ウ：候補問題は本番と無関係なので一切練習しない。

エ：候補問題の一つだけを完全暗記すれば十分である。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：詳細が変更される場合があるため危険である。

イ：試験センターは候補問題から出題するとしつつ、配線図・施工条件の詳細や機器配置は変更する場合があると明記している。

ウ：本番は候補問題No.1～10から出題される。

エ：どの候補問題が出題されるか事前には分からない。

総合解説：第一種技能は『候補問題暗記』よりも、施工条件の差分を素早く読んで正しい回路へ変換する能力が重要である。

Q031 6-2 / 6-2-1

難易度: 基礎

電線の採寸・切断・被覆はぎ取り

令和8年度第一種電気工事士技能試験の試験時間として予定されている時間はどれか。

ア：30分。第一種の公式公表時間を30分とみなす。

イ：90分。作業時間に追加の準備時間を含めて考える。

ウ：60分。令和8年度の第一種技能試験の公表時間を用いる。

エ：120分。2時間を標準技能時間とみなす。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：令和8年度第一種技能試験の公表時間ではない。

イ：令和8年度の技能試験時間は60分であり、90分ではない。

ウ：令和8年度の技能試験時間は60分である。

エ：令和8年度の技能試験時間は60分であり、120分ではない。

総合解説：採寸・切断・結線・見直しまでを60分内で終える必要があるため、材料確認後に手戻りの少ない作業順序を組むことが重要である。

Q032 6-2 / 6-2-1

難易度: 基礎

電線の採寸・切断・被覆はぎ取り

試験開始前の材料確認で最も適切な行動はどれか。

ア：開始前は材料に触れず、開始後に不足を探す。

イ：不足していても自分の材料を使えばよい。

ウ：材料表の数量は参考なので確認不要である。

エ：監督員の指示に従い、材料表と材料箱を照合して不足・不良がないか確認し、問題があれば開始前に申し出る。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：開始前に指定された材料確認時間がある。

イ：支給品以外の材料の使用は禁止されている。

ウ：材料表との照合確認が明示されている。

エ：試験センターは、試験開始後の材料交換には原則応じないため、開始前の材料確認を求めている。

総合解説：開始前の材料確認は施工技能そのものではないが、試験を安全かつ確実に進めるための必須手順である。

Q033 6-2 / 6-2-1

難易度: 基礎

電線の採寸・切断・被覆はぎ取り

令和8年3月更新の技能試験注意資料に照らし、試験で使用できないものはどれか。

- ア：充電式電動ドライバなどの電動工具。
- イ：手動のペンチ。
- ウ：手動のリングスリーブ用圧着工具。
- エ：電工ナイフ。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：試験センターは、電動機能をOFFにして使う場合も含め、電動工具の使用を禁止している。

イ：一般的な手工具は使用できる。

ウ：適合した手動圧着工具は技能作業に使用する。

エ：電線の種類に応じた手作業工具として使用可能である。

総合解説：第一種技能試験では基本作業能力を確認するため電動工具は使用できない。工具の準備段階から注意する。

Q034 6-2 / 6-2-1

難易度: 標準

電線の採寸・切断・被覆はぎ取り

配線図に器具間寸法が示されている。採寸前の考え方として最も適切なものはどれか。

- ア：表示寸法を無視して、見栄えだけで同じ長さにそろえる。
- イ：図の指定寸法と器具位置を確認し、結線に必要な余長も考慮しつつ完成寸法が条件から外れないよう切断する。
- ウ：すべての電線を支給時の長さのまま使う。
- エ：器具への引込み長さを考えず、表示寸法だけで切断する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：配線図の寸法条件に従う必要がある。

イ：技能試験では配置・寸法が配線図と大きく相違すると欠陥となるため、完成状態を見据えた採寸が必要である。

ウ：区間ごとの指定寸法に合わせて加工する必要がある。

エ：端末処理分を考慮しないと完成寸法が不足するおそれがある。

総合解説：採寸では完成後の器具中心間・配線経路を意識し、端末加工分を含めた切断長さを決める。

Q035 6-2 / 6-2-1

難易度: 標準

電線の採寸・切断・被覆はぎ取り

EM-EEFやVVRケーブルの外装をはぎ取る際の考え方として、試験センターの注意資料に沿うものはどれか。

ア：すべてのケーブルをVVF用ストリッパだけで同じ力で処理する。

イ：外装が硬いほど心線まで強く刃を入れる。

ウ：ケーブルの材質・構造に応じ、心線を傷付けない適切な工具・方法を選ぶ。

エ：外装の見た目だけを整え、心線の傷は気にしない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：ケーブル種類によって適切な方法が異なる。

イ：心線傷の原因になる。

ウ：注意資料は、VVF用ストリッパではEM-EEFやVVRを適切に処理できず、心線を傷付ける場合があると説明している。

エ：心線損傷は重大な欠陥につながる。

総合解説：ケーブル種類に応じた工具選択と刃の入れ方を練習し、外装・絶縁被覆・心線を損傷しないことが基本である。

Q036 6-2 / 6-2-1

難易度: 標準

電線の採寸・切断・被覆はぎ取り

絶縁被覆をはぎ取る作業で最優先すべき点はどれか。

ア：心線へ深い切れ目を入れてから被覆を引き抜く。

イ：被覆をできるだけ長く全部除去する。

ウ：より線は数本切れても本数が多いので問題ない。

エ：心線を折損につながるほど傷付けず、必要な長さだけ被覆を除去する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：心線損傷を生じさせる危険がある。

イ：むき過ぎは端子部の心線露出につながる。

ウ：より線の減線は欠陥となる。

エ：試験センターは、心線に傷を付けると接続時に折れる場合があるとして注意を促している。

総合解説：はぎ取りは『必要な長さ』『心線を傷付けない』『仕上がりを想定する』の3点を同時に満たす。

Q037 6-2 / 6-2-1

難易度: 標準

電線の採寸・切断・被覆はぎ取り

ケーブル外装をはぎ取る際、良い施工として最も適切なものはどれか。

- ア：必要箇所以外の外装を割らず、絶縁被覆を保護できる状態を保つ。
- イ：外装に長い縦割れができてても絶縁被覆が見えなければ気にしない。
- ウ：工具を深く差し込み、内部被覆まで一度に切る。
- エ：外装を強くねじって介在物ごと引き抜く。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：技能試験の注意資料は、外装が割れると内部絶縁電線を保護する役割を果たせないと説明している。

イ：一定以上の縦割れは欠陥基準にも該当する。

ウ：内部絶縁を傷付ける危険がある。

エ：VVR・CVVでは介在物を抜くことが欠陥になる場合がある。

総合解説：外装は内部電線を機械的に保護するため、端末加工部以外を健全に保つことが重要である。

Q038 6-2 / 6-2-1

難易度: 標準

電線の採寸・切断・被覆はぎ取り

VVRやCVVを加工する際の注意として正しいものはどれか。

- ア：介在物は必ず全長にわたり抜き取る。
- イ：介在物を不必要に引き抜かず、ケーブル構造を損なわないよう加工する。
- ウ：介在物を導体として端子へ結線する。
- エ：介在物を接地線の代わりに使用する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：介在物を抜いた状態は欠陥となる。

イ：欠陥判断基準では、VVR・CVVの介在物が抜けたものを欠陥としている。

ウ：介在物は電路導体ではない。

エ：接地線として使用する材料ではない。

総合解説：ケーブル構造を理解し、導体・絶縁被覆・外装・介在物をそれぞれ本来の状態で保持する。

Q039 6-2 / 6-2-1

難易度: 応用

電線の採寸・切断・被覆はぎ取り

ランプレセブタクルや露出形コンセントへ結線するケーブルのシースをはぎ取る前に考えるべきこととして最も適切なものはどれか。

ア：端子へ届けばよいのでシースはできるだけ長く除去する。

イ：台座外で絶縁被覆が長く露出するよう加工する。

ウ：完成時にケーブル外装が台座内へ入り、絶縁被覆や心線が不要に露出しない長さを逆算する。

エ：シースの長さは採点に関係しないので目測で大きく除去する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：むき過ぎは不適切な露出につながる。

イ：外装が台座内に入らない施工は欠陥となり得る。

ウ：技能試験注意資料は、端末の完成状態を念頭にシース・絶縁被覆のはぎ取り長さを決めるよう説明している。

エ：完成状態に関する欠陥基準がある。

総合解説：端末加工は『先に完成形を想像してからむく』ことが重要で、切り過ぎは元に戻せない。

Q040 6-2 / 6-2-1

難易度: 応用

電線の採寸・切断・被覆はぎ取り

技能試験の欠陥判断基準には数mmの許容値が示される項目がある。この数値の扱いとして試験センターの説明に最も合うものはどれか。

ア：許容値ぎりぎりになるよう意図的に毎回施工する。

イ：許容値以内なら心線や被覆を傷付けてもよい。

ウ：試験の許容値は実際の工事でも必ず許容される法定値である。

エ：欠陥判定の境界として理解しつつ、施工自体は不要な露出やずれをできるだけ小さくする。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：境界値を狙う施工は品質上望ましくない。

イ：損傷は別の欠陥要件になる。

ウ：技能試験の判断基準は試験環境等を考慮したもので、実施工とは同一ではない。

エ：試験センターは、判断基準の数値は試験環境等を考慮したもので、実際の工事では限りなく0mmに近い施工が求められると説明している。

総合解説：欠陥基準は合否判定の最低ラインとして理解し、練習ではより確実に整った施工を目標にする。

Q041 6-2 / 6-2-2

難易度: 基礎

圧着接続・差込形コネクタ・端子処理

リングスリーブの適切な種類を選ぶとき、基本的に確認する組合せはどれか。

- ア：接続する電線の径・断面積と本数。
- イ：電線の色とケーブル外装色だけ。
- ウ：接続場所の床からの高さだけ。
- エ：受験番号の末尾だけ。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：試験センター資料は、電線の径と接続本数に応じてリングスリーブを選択するよう示している。

イ：色だけではスリーブサイズを決定できない。

ウ：スリーブ選定の基準ではない。

エ：施工材料の選定とは無関係である。

総合解説：圧着接続では、まず接続する電線の太さと本数を整理し、それに適合するスリーブとダイスを選ぶ。

Q042 6-2 / 6-2-2

難易度: 基礎

圧着接続・差込形コネクタ・端子処理

リングスリーブを技能試験で圧着する工具として、試験センターが適切な例として示しているものはどれか。

- ア：数字だけを刻印する圧着端子用工具。
- イ：JISに適合し、○・小・中・大などの圧着マークが明確に出るリングスリーブ用圧着工具。
- ウ：電動インパクトドライバ。
- エ：ペンチでスリーブをつぶす。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：リングスリーブ用の適正な圧着マークにならない。

イ：試験センター資料は、握り部分が黄色のJIS適合リングスリーブ用圧着工具を例示している。

ウ：電動工具は技能試験で使用できない。

エ：所定の圧着性能・刻印を確保できない。

総合解説：適正工具・適正スリーブ・適正ダイスの三つを揃えて初めて正しい圧着になる。

Q043 6-2 / 6-2-2

難易度: 基礎

圧着接続・差込形コネクタ・端子処理

φ1.6mmの単線2本をリングスリーブで接続する場合の代表的な組合せとして正しいものはどれか。

- ア：中スリーブを用い、大のダイスで圧着する。
- イ：大スリーブを用い、数字2の刻印を付ける。
- ウ：小のリングスリーブを用い、○のダイスで圧着する。
- エ：スリーブを用いず、2本をねじって終える。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：この組合せはφ1.6mm2本には過大である。

イ：リングスリーブ用の正しい組合せではない。

ウ：試験センターのJIS C 2806準拠表では、φ1.6mm単線2本は小スリーブ・○刻印の組合せである。

エ：指定がリングスリーブ接続なら適正な圧着が必要である。

総合解説：頻出の基本組合せは実作業で迷わないよう、電線本数を見て即座にスリーブ・刻印を選べるようにする。

Q044 6-2 / 6-2-2

難易度: 標準

圧着接続・差込形コネクタ・端子処理

リングスリーブを圧着したところ、○・小・中・大ではなく数字の刻印が付いた。最も適切な判断はどれか。

- ア：数字の方が強く圧着できるので良い施工である。
- イ：刻印は見た目だけなので何でもよい。
- ウ：数字が付けばリングスリーブのサイズ確認は不要である。
- エ：リングスリーブ用ではない圧着端子用工具等を使った可能性があり、適切な圧着とは認められない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：刻印の種類は適正工具・ダイス確認の要素である。

イ：不適正な圧着マークは欠陥となる。

ウ：スリーブ選定と刻印の両方が適正である必要がある。

エ：試験センター資料は、数字刻印となる圧着端子用工具の使用を欠陥例として示している。

総合解説：リングスリーブの圧着痕は、正しい工具とダイスを使ったことを確認する重要な情報である。

Q045 6-2 / 6-2-2

難易度: 標準

圧着接続・差込形コネクタ・端子処理

リングスリーブを一度圧着したが、刻印位置が気になった。正しい対応として最も適切なものはどれか。

ア：同じスリーブに重ねて再圧着せず、必要なら接続をやり直して新しいスリーブで適切に圧着する。

イ：同じ場所を何度も圧着して刻印を濃くする。

ウ：スリーブをペンチで追加変形させる。

エ：絶縁被覆の上からもう一度圧着する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：欠陥判断基準では、1つのリングスリーブに2つ以上の圧着マークがあるものを欠陥としている。

イ：複数の圧着マークは欠陥となる。

ウ：所定の圧着性能を損なうおそれがある。

エ：被覆を噛んだ圧着は欠陥となる。

総合解説：やり直し時は『その場しのぎの追加圧着』ではなく、材料を交換して正しい手順で再施工する。

Q046 6-2 / 6-2-2

難易度: 標準

圧着接続・差込形コネクタ・端子処理

リングスリーブによる接続後、上から目視確認するときの適切な状態はどれか。

ア：心線の先端は1本も見えない方がよい。

イ：接続する全ての心線の先端が確認でき、いずれか1本がスリーブ内に埋もれて見えない状態になっていない。

ウ：1本だけ見えれば他は見えなくてもよい。

エ：心線を長く出し、10mm以上突出させる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：十分に挿入されていることを確認できず、欠陥となる。

イ：欠陥判断基準では、接続する心線の先端が1本でも見えないものを欠陥としている。

ウ：全ての接続心線を確認する必要がある。

エ：上端からの過大な心線露出も欠陥となる。

総合解説：圧着前に心線先端をそろえ、圧着後に全心線の挿入状態と露出量を確認する。

Q047 6-2 / 6-2-2

難易度: 標準

圧着接続・差込形コネクタ・端子処理

リングスリーブ接続部を作る際、ケーブル外装のはぎ取りが極端に短いと何が問題になるか。

ア：外装が短いほど必ず圧着性能が高くなる。

イ：外装は長さに関係なく全部残すのが正しい。

ウ：接続作業に必要な絶縁被覆部分を確保できず、欠陥基準に抵触する仕上がりになり得る。

エ：外装長は端末処理と無関係なので確認不要である。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：圧着性能が向上する根拠はない。

イ：接続部には必要な外装はぎ取りが必要である。

ウ：欠陥判断基準では、リングスリーブ接続でケーブル外装のはぎ取り不足により絶縁被覆が20mm以下となるものを欠陥としている。

エ：欠陥判断項目として明示されている。

総合解説：接続部では心線露出だけでなく、外装・絶縁被覆の境界位置まで含めて仕上がりを確認する。

Q048 6-2 / 6-2-2

難易度: 応用

圧着接続・差込形コネクタ・端子処理

差込形コネクタへ単線を接続した後の確認として、最も適切な組合せはどれか。

ア：先端から心線が見えず、下端から裸心線が見える。

イ：先端・下端のどちらからも心線を確認しない。

ウ：下端から5mm程度裸心線を出しておく。

エ：先端側から心線が確認でき、コネクタ下端側から裸心線が見えない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：挿入不足かつむき過ぎの不適切な状態である。

イ：目視確認が必要である。

ウ：差込部の絶縁性能を損なう。

エ：試験センター資料は、先端で心線が見えない場合と、下端側で心線が見える場合を欠陥としている。

総合解説：差込形コネクタは『奥まで確実に差す』『根元で心線を露出させない』の両方を満たす。

Q049 6-2 / 6-2-2

難易度: 応用

圧着接続・差込形コネクタ・端子処理

差込形コネクタへ電線を接続する前の被覆はぎ取り長さを決める方法として最も適切なものはどれか。

- ア：コネクタに設けられたストリップゲージに合わせて心線長を調整する。
- イ：毎回同じ30mmを目測でむく。
- ウ：心線が根元から見えるまで長くむく。
- エ：被覆をむかずに絶縁被覆ごと差し込む。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：試験センター資料は、差込形コネクタのストリップゲージどおりに心線長を調整する方法を示している。

イ：コネクタごとの適正挿入長と合わない場合がある。

ウ：むき過ぎになる。

エ：導電部へ心線が接触せず正しい接続にならない。

総合解説：ストリップゲージは適正な露出長を簡単に再現するための基準であり、差込不足・むき過ぎの防止に有効である。

Q050 6-2 / 6-2-2

難易度: 標準

圧着接続・差込形コネクタ・端子処理

差込形コネクタへの接続をやり直す必要が生じた。試験センターの注意資料に沿う対応はどれか。

- ア：同じコネクタから電線を力任せに引き抜き、何度でも再使用する。
- イ：コネクタ下部から電線を切断し、新しい差込形コネクタを使って再接続する。
- ウ：コネクタを分解して内部ばねを曲げ直す。
- エ：接続不良のままテープで固定して使う。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：心線を傷付ける可能性がある。

イ：試験センターは、引き抜いて再使用すると心線を傷付ける可能性があるため、新しいコネクタでやり直すよう説明している。

ウ：試験用材料を不適切に改造する行為になる。

エ：正しい電氣的・機械的接続にならない。

総合解説：やり直しは材料を惜しまず、損傷リスクのない方法で確実に行う。差込形コネクタは追加支給対象になる場合がある。

Q051 6-2 / 6-2-3

難易度: 基礎

器具取付け・端子接続・締め付け

端子台の座金付きねじ端子へ単線を結線した後の適切な状態はどれか。

- ア：心線を座金の外側へ置き、ねじは軽く触れる程度にする。
- イ：絶縁被覆だけを座金で挟み、心線は端子に触れさせない。
- ウ：心線が座金で確実に保持され、軽く引っ張っても外れない。
- エ：端子ねじを外したまま心線を巻き付ける。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：心線が確実に保持されない。

イ：導通が得られず、被覆締め付けも不適切である。

ウ：試験センター資料は、端子台で心線を座金に確実に保持し、単線は引っ張っても外れないよう締め付けることを求めている。

エ：正しい端子結線ではない。

総合解説：端子接続の基本は、導体を正しい位置へ入れ、機械的にも電氣的にも確実に保持することである。

Q052 6-2 / 6-2-3

難易度: 基礎

器具取付け・端子接続・締め付け

より線をねじ締め端子へ接続するときの適切な施工はどれか。

- ア：素線の数本を切り落として細くしてから端子へ入れる。
- イ：素線の半分だけ端子へ入れ、残りは外へ出す。
- ウ：素線を絶縁被覆の上からねじで締める。
- エ：素線をばらけさせず、全ての素線を端子内に収めて確実に締め付ける。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：より線の減線は欠陥である。

イ：電氣的・機械的に不適切で欠陥となる。

ウ：導体が適切に保持されない。

エ：欠陥判断基準では、より線の素線の一部が端子に挿入されていないものを欠陥としている。

総合解説：より線は素線を一本も逃がさず、必要以上にほぐさず、端子へまっすぐ挿入する。

Q053 6-2 / 6-2-3

難易度: 基礎

器具取付け・端子接続・締付け

端子台の低圧側へ結線したとき、欠陥判断基準で心線の露出が欠陥となる目安はどれか。

ア：端子台の端から5 mm以上露出。低圧側の欠陥基準を適用する。

イ：1 mm以上露出。わずかな露出も一律欠陥とみなす。

ウ：20 mm以上露出。高圧側の数値を低圧側に当てはめる。

エ：50 mm以上露出。大きな露出だけを欠陥とみなす。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：欠陥判断基準は、端子台低圧側で端子台の端から心線が5mm以上露出したものを欠陥としている。

イ：低圧端子台の基準ではない。

ウ：20mm以上は高圧側端子台に関する基準である。

エ：低圧端子台ではもっと小さい露出で欠陥となる。

総合解説：実施工は露出をできるだけ小さくし、導体が座金で確実に保持される長さへ調整する。

Q054 6-2 / 6-2-3

難易度: 標準

器具取付け・端子接続・締付け

変圧器代用端子台の高圧側へ結線した。欠陥判断基準に照らし、避けるべき状態はどれか。

ア：心線が座金に確実に保持されている。

イ：端子台の端から心線が20mm以上露出している状態。

ウ：絶縁被覆が端子直近まで来ている。

エ：端子記号を確認してから締め付ける。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：これは必要な施工状態である。

イ：欠陥判断基準は、高圧側端子台で端子台の端から心線が20mm以上露出したものを欠陥としている。

ウ：被覆を噛み込まない範囲で露出を小さくするのが望ましい。

エ：誤結線防止の適切な作業である。

総合解説：高圧側は低圧側と欠陥判定の露出寸法が異なるため、端子台のどちら側を施工しているかを確認する。

Q055 6-2 / 6-2-3

難易度: 標準

器具取付け・端子接続・締付け

端子ねじの締付けについて最も適切な説明はどれか。

ア：ねじ頭が変形するまで最大力で締め付ける。

イ：心線が動いても、ねじが回っていれば十分である。

ウ：心線を確実に保持するまで締め付けるが、ねじ山や頭部を破損するほど必要以上に締め付けない。

エ：締付け確認は不要で、見た目だけで判断する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：ねじ破損の原因となり、欠陥になり得る。

イ：確実な保持が必要である。

ウ：試験センター資料は、確実な保持後にさらに強く締めるとねじを破損することがあると注意している。

エ：機械的保持を確認する必要がある。

総合解説：締付けは『緩すぎず、壊すほど強すぎず』が基本で、端子を確実に保持した時点で止める。

Q056 6-2 / 6-2-3

難易度: 標準

器具取付け・端子接続・締付け

埋込スイッチやコンセントなどのねじなし端子へ単線を接続するとき、被覆はぎりぎり長さを決める方法として適切なものはどれか。

ア：毎回同じ長さを目分量でむき、浅く差す。

イ：裸心線を長く残して端子外へ見せる。

ウ：絶縁被覆のまま押し込む。

エ：器具に表示されたストリップゲージに合わせて心線長を調整し、奥まで差し込む。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：器具ごとの適正長さ合わないおそれがある。

イ：過大露出は欠陥となる。

ウ：導体が接点に到達しない。

エ：試験センター資料は、器具のストリップゲージに合わせることで適切な挿入深さを得よう説明している。

総合解説：ストリップゲージを使えば、露出過多と挿入不足を同時に防ぎやすい。

Q057 6-2 / 6-2-3

難易度: 標準

器具取付け・端子接続・締付け

ねじなし端子の心線露出について、欠陥判断基準の説明として正しいものはどれか。

ア：一般の対象器具では2mm以上、引掛シーリングローゼットでは1mm以上の露出が欠陥となる。

イ：どの器具でも10mm未満なら必ず良い。

ウ：引掛シーリングローゼットは5mm以上だけが欠陥である。

エ：心線露出は長いほど接触が良いので制限はない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：欠陥判断基準にこの区別が明記されている。

イ：器具により2mmまたは1mmの基準がある。

ウ：ねじなし端子の心線露出は1mm以上が欠陥となる。

エ：露出は感電・短絡リスクにつながり、制限される。

総合解説：器具ごとの基準差を覚えるだけでなく、実際には心線が器具外へ見えない施工を目標にする。

Q058 6-2 / 6-2-3

難易度: 応用

器具取付け・端子接続・締付け

ランプレセプタクル等のねじ端子へ心線を巻き付けて結線する場合、適切な施工として最も近いものはどれか。

ア：左巻きにして、ねじ締付けで心線が外側へ開くようにする。

イ：ねじを締める方向に沿う右巻きとし、重ね巻きや著しい巻付け不足を避ける。

ウ：同じ部分を二重三重に重ね巻きする。

エ：心線をねじへ巻かず、カバーで押さえるだけにする。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：左巻きは欠陥となる。

イ：欠陥判断基準では左巻き、重ね巻き、巻付け不足などを不適切としている。

ウ：重ね巻きは欠陥となる。

エ：正しいねじ端子結線ではない。

総合解説：ねじ端子では締付け時に心線が端子へ引き込まれる方向で巻き、端末のはみ出しや重なりを避ける。

Q059 6-2 / 6-2-3

難易度: 応用

器具取付け・端子接続・締付け

露出形コンセントへケーブルを結線するときの適切な施工はどれか。

ア：ケーブルを台座外側から直接端子へ渡し、引込口を使わない。

イ：外装を台座手前で全部除去し、絶縁被覆を長く露出させる。

ウ：指定されたケーブル引込口からケーブルを通し、外装が台座内に入った状態で近い端子へ正しく結線する。

エ：遠い側の端子へ電線を大きく交差させて結線する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：引込口を通さない結線は欠陥となる。

イ：外装が台座内に入っていない施工は欠陥となる。

ウ：欠陥判断基準と令和8年度実施問題No.9は、露出形コンセントの引込み位置・外装状態・端子接続を具体的に示している。

エ：実施問題で近い端子へ結線する指定がある場合は条件に従う。

総合解説：器具結線では端子だけでなく、ケーブルの入り方・外装の位置・カバーが閉まるかまで確認する。

Q060 6-2 / 6-2-3

難易度: 標準

器具取付け・端子接続・締付け

埋込連用取付枠に器具を1個だけ取り付ける場合の基本的な配置として、欠陥判断基準に照らして正しいものはどれか。

ア：必ず上端位置に取り付ける。

イ：必ず下端位置に取り付ける。

ウ：取付枠を裏返しにして任意位置へ付ける。

エ：中央位置に取り付ける。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：1個の場合は中央以外が欠陥となる。

イ：1個の場合は中央位置が基本である。

ウ：取付枠を裏返して器具を取り付けることも欠陥となる。

エ：欠陥判断基準では、配線器具1個の場合に中央以外へ取り付けたものを欠陥としている。

総合解説：器具の電氣的結線が正しくても、取付枠での指定位置や表裏が違えば欠陥になり得る。

Q061 6-3 / 6-3-1

難易度: 基礎

高压ケーブル・端末処理

令和8年度第一種電気工事士技能試験の高压側施工で、実際の支給材料として確認できるものはどれか。

ア：KIP 8mm²の高压絶縁電線。

イ：同軸ケーブル5C-2V。

ウ：LAN用UTPケーブル。

エ：ビニル平形コード0.75mm²だけ。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度の複数の実施問題で、高压側6,600V用としてKIP 8mm²が材料表に記載されている。

イ：テレビ受信用などの同軸ケーブルであり、高压主回路材料ではない。

ウ：通信配線用であり、高压主回路には用いない。

エ：6,600V側の高压施工材料ではない。

総合解説：第一種技能では高压設備を机上で模擬するため、KIP高压絶縁電線と変圧器・開閉器等の代用端子台を扱う。

Q062 6-3 / 6-3-1

難易度: 基礎

高压ケーブル・端末処理

高压側端子台への結線で、端子台の端から裸心線が過度に露出しないようにする主な理由として最も適切なものはどれか。

ア：裸心線が長いほど絶縁性能が上がるため。

イ：不要な裸導体露出を抑え、安全な端末状態とするため。

ウ：端子台の見た目を派手にするため。

エ：高压側では絶縁被覆が不要だから。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：裸導体露出は絶縁性能を高めない。

イ：欠陥判断基準では、高压側端子台の端から心線が20mm以上露出したものを欠陥としている。

ウ：保安上の理由とは無関係である。

エ：高压側ほど絶縁・離隔の確保が重要である。

総合解説：技能試験では高压側の露出寸法に判定基準があるが、練習では必要最小限の露出に整える。

Q063 6-3 / 6-3-1

難易度: 基礎

高压ケーブル・端末処理

KIPなどのより線を端子台へ結線するとき、最も適切な施工はどれか。

ア：入りにくい素線は数本切り落として細くする。

イ：素線の半分を端子外へ出したまま締める。

ウ：素線を減らさず、全ての素線を座金・端子内に収めて確実に締め付ける。

エ：絶縁被覆だけを座金で締め、素線は触れさせない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：より線の減線は欠陥となる。

イ：素線が端子に収まっていない状態は不適切である。

ウ：欠陥判断基準では、より線の減線や素線の一部が端子に挿入されていない状態を欠陥としている。

エ：導通と機械的保持を確保できない。

総合解説：高压側端末でも、導体を傷めず全素線を確実に保持するという端子接続の基本は同じである。

Q064 6-3 / 6-3-1

難易度: 基礎

高压ケーブル・端末処理

6,600V一次側の高压端子台へKIPを結線する前に最も優先して確認すべきものはどれか。

ア：KIPの長さだけを見て、届く端子へ接続する。

イ：端子ねじの光沢だけで相を判断する。

ウ：端子番号を見ず、左右対称になるよう接続する。

エ：試験問題の端子台説明図に示された一次側端子記号と結線図。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：端子機能を見ずと誤結線になる。

イ：相・端子機能は説明図で確認する。

ウ：見た目ではなく回路指定に従う必要がある。

エ：令和8年度実施問題では、変圧器代用端子台の一次側・二次側と内部結線を説明図で明示している。

総合解説：高压側は誤接続の影響が大きいため、端子記号・一次二次・相を確認してから加工長を決める。

Q065 6-3 / 6-3-1

難易度: 標準

高圧ケーブル・端末処理

変圧器代用端子台で、一次側6,600VにKIP、二次側210/105VにVVF等を接続する問題がある。この材料使い分けを読む際の考え方として正しいものはどれか。

ア：高圧側・低圧側の電圧と端子を区別し、材料表・配線図・施工条件で指定された電線をそれぞれ使用する。

イ：KIPとVVFは長さが合えばどちら側へ使ってもよい。

ウ：一次側には白色VVFだけを使用する。

エ：二次側へ高圧電線しか使ってはならない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度実施問題No.1などで、高圧側KIPと低圧側VVFを明確に使い分ける。

イ：電圧・用途・施工条件が異なるため入替できない。

ウ：実施問題では高圧側にKIPが指定される。

エ：問題の材料指定に従う。

総合解説：第一種技能では高圧・低圧を跨ぐ回路を一つの作品で扱うため、材料の誤使用を防ぐ整理が重要である。

Q066 6-3 / 6-3-1

難易度: 標準

高圧ケーブル・端末処理

電源が1φ2W 6,600Vで、配線図にKIP 8×2と示されている。高圧一次側の施工として正しいものはどれか。

ア：KIPを3本使い、三相として結線する。

イ：2本のKIPを、指定された一次側2端子へ結線する。

ウ：KIPを1本だけ使い、もう一方を接地線で代用する。

エ：KIPは二次側100V回路だけへ使用する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：1φ2Wの指定と異なる。

イ：令和8年度実施問題No.1・No.9に、1φ2W 6,600VとKIP 8×2の例がある。

ウ：保護接地線を電路導体として代用できない。

エ：実施問題では6,600V一次側に使用される。

総合解説：高圧側でも、電源方式の線数と材料表の本数を対応させて結線する。

Q067 6-3 / 6-3-1

難易度: 標準

高圧ケーブル・端末処理

電源が3φ3W 6,600Vで、材料表にKIP 8mm² が3本分支給されている。施工方針として正しいものはどれか。

ア：2本だけ使用し、残り1本は必ず予備にする。

イ：4本必要なので支給材料不足と判断する。

ウ：三相の各相導体として3本を使用し、端子台説明図・相表示に従って結線する。

エ：3本を同一端子へまとめて結線する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：三相3線主回路には3本の相導体が必要である。

イ：保護接地線を別に考えると、主回路は3本で構成される。

ウ：令和8年度実施問題No.5では3φ3W 6,600V側にKIP 8×3が示されている。

エ：各相を別端子へ結線する必要がある。

総合解説：3相高圧回路では、3本のKIPの相対応を崩さず、端子台の一次側へ正確に接続する。

Q068 6-3 / 6-3-1

難易度: 標準

高圧ケーブル・端末処理

高圧側端子台へKIPを締め付けたところ、座金が絶縁被覆を強く噛み込み、心線の保持が不十分になっている。適切な対応はどれか。

ア：被覆を噛ませた方が絶縁性が上がるのでそのままにする。

イ：端子ねじをさらに強く締めて被覆をつぶす。

ウ：心線を端子から完全に外し、被覆だけで固定する。

エ：被覆はぎりぎり長さと挿入位置を修正し、心線を座金で確実に保持して締め直す。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：端子で導体を確実に保持できず不適切である。

イ：器具破損や保持不良につながる。

ウ：電氣的接続にならない。

エ：欠陥判断基準では、絶縁被覆を締め付けたものを欠陥としている。

総合解説：端末では『導体を確実に保持』『被覆を噛まない』『裸導体を露出させすぎない』を同時に確認する。

Q069 6-3 / 6-3-1

難易度: 標準

高圧ケーブル・端末処理

第一種技能試験対策として高圧端末処理を学ぶ際、令和8年度の公式資料から確認できる範囲として最も適切なものはどれか。

ア：KIP高圧絶縁電線の加工・端子台への結線など、支給材料と机上作業で実施できる基本施工を中心に練習する。

イ：実際の現場用高圧ケーブル終端キットを必ず持参して施工する。

ウ：高圧設備は技能試験に出ないので一切練習しない。

エ：候補問題にないメーカー固有施工寸法を暗記して作品へ追加する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：候補問題は机上で行うことと材料・工具を考慮して作成され、高圧側ではKIPと代用端子台が使われる。

イ：支給材料以外を使用できず、令和8年度技能問題でその作業は確認されていない。

ウ：第一種では6,600V側の高圧施工を模擬する問題がある。

エ：当日の問題・支給材料にない余分な工事は不適切である。

総合解説：このSOURCEでは、一次情報で確認できない現場用高圧ケーブル終端のメーカー固有寸法は推測で問題化せず、公式技能試験範囲に限定している。

Q070 6-3 / 6-3-1

難易度: 標準

高圧ケーブル・端末処理

高圧側KIPの区間寸法が配線図に示されている。切断前の最も適切な考え方はどれか。

ア：高圧電線は長いほど安全なので、支給長を一切切らない。

イ：指定された完成寸法と端子台への結線長を確認し、短く切りすぎないように加工長を決める。

ウ：端子へ届く最小長だけに切り、完成寸法は無視する。

エ：低圧VVFの切れ端を継ぎ足して長さを調整する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：指定寸法・配置から外れる場合がある。

イ：技能試験では配線図の寸法・配置と端子結線の双方へ適合する作品が必要である。

ウ：配線図寸法への適合も必要である。

エ：材料・電線種類の指定に反する。

総合解説：高圧側材料は余裕が限られることもあるため、先に全体配置を決めてから切断する。

Q071 6-3 / 6-3-1

難易度: 応用

高压ケーブル・端末処理

高压側端子台へのKIP結線を終えた。見直し項目の組合せとして最も適切なものはどれか。

ア：外觀色だけ確認し、端子記号と締付けは確認しない。

イ：心線露出を長くしてから、見た目が左右対称かだけ確認する。

ウ：端子記号・相、心線の確実な締付け、素線のはみ出し、被覆噛み込み、過大な心線露出を確認する。

エ：端子ねじを全て限界まで増し締めし、ねじ破損の有無は確認しない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：誤結線・緩みを見落とす。

イ：露出過多は欠陥となり得る。

ウ：公式の欠陥判断基準と技能試験注意資料が、端子台結線の主要確認項目として示している内容である。

エ：過締付けは器具破損につながる。

総合解説：第一種特有の高压側施工では、回路の正しさと端末品質を別々に確認する二重チェックが有効である。

Q072 6-3 / 6-3-1

難易度: 応用

高压ケーブル・端末処理

練習した候補問題では单相6,600Vだったが、本番問題は三相6,600VでKIP本数・端子台構成が異なっていた。最も適切な対応はどれか。

ア：練習どおりKIP2本だけで施工する。

イ：余ったKIPを接地線として使う。

ウ：端子台を見ず、左右の端子へ均等に接続する。

エ：本番の電源方式・材料表・端子台説明図を読み直し、KIP本数と結線先をその場で再計画する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：三相3線条件と合わない。

イ：主回路材料を勝手に用途変更できない。

ウ：端子機能を無視した誤結線になる。

エ：候補問題の詳細や機器配置は変更される場合があり、当日の施工条件に従う必要がある。

総合解説：高压側こそ候補図の丸暗記ではなく、電源方式・端子記号・材料表を素早く読み替える力が必要である。

Q073 6-3 / 6-3-2

難易度: 基礎

制御回路・端子台・機器間配線

令和8年度第一種技能試験の実施問題で、端子台による代用例が確認できる機器の組合せとして適切なものはどれか。

ア：変圧器、開閉器、タイムスイッチ、自動点滅器など。

イ：ガスメーターと水道メーターだけ。

ウ：自動車用ECUだけ。

エ：電話交換機だけ。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度実施問題No.1・No.5・No.9で、これらの機器を端子台で代用する例が確認できる。

イ：電気工事士技能試験の代用機器例ではない。

ウ：技能試験の配線課題とは無関係である。

エ：令和8年度の代表的な代用例ではない。

総合解説：第一種技能では、実機の代わりに端子台を使って制御・受電回路の論理を施工させる点の特徴である。

Q074 6-3 / 6-3-2

難易度: 基礎

制御回路・端子台・機器間配線

機器代用端子台に内部結線図が示されている場合、外部配線の計画として正しいものはどれか。

ア：内部結線は無視し、端子を全部外部で短絡する。

イ：内部で既に接続されている端子関係を把握し、それを前提に外部電線の接続先を決める。

ウ：内部配線を受験者がすべて外してから再配線する。

エ：端子台の端子数だけ見て接続先をランダムに決める。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：回路機能を壊す。

イ：実施問題では端子台内部結線が説明図で示され、外部配線はその機能関係を前提に施工する。

ウ：既設配線の変更・除去は不適切な場合がある。

エ：端子機能を確認する必要がある。

総合解説：制御回路では『端子台の中で何がつながっているか』を先に読むと、外部配線の本数と接続先を整理しやすい。

Q075 6-3 / 6-3-2

難易度: 基礎

制御回路・端子台・機器間配線

令和8年度実施問題No.9で、タイムスイッチ代用端子台のS2端子について指定されている内容はどれか。

- ア：S2を必ず接地線（緑色）専用端子とする。
- イ：S2を6,600V高圧主回路へ直接接続する。
- ウ：S2を接地側とする。
- エ：S2は未使用とし、何も接続しない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：ここでの接地側は回路の接地側電線であり、保護接地線とは別である。

イ：低圧制御回路の端子指定と異なる。

ウ：実施問題No.9の施工条件に、端子S2を接地側とする旨が明記されている。

エ：施工条件に反する。

総合解説：制御端子の『接地側』と保護接地の『接地線』を区別して読むことが重要である。

Q076 6-3 / 6-3-2

難易度: 標準

制御回路・端子台・機器間配線

自動点滅器代用端子台にCdS回路を含む内部結線が示されている。結線時の基本方針として正しいものはどれか。

- ア：CdSの文字を無視し、全端子を同電位として短絡する。
- イ：端子番号は飾りなので左右どちらへ接続しても同じである。
- ウ：自動点滅器は照明回路と無関係なので配線しない。
- エ：端子1・2・3などの機能を説明図で確認し、屋外灯回路の展開接続図と対応させて外部配線する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：自動点滅器の機能を失う。

イ：説明図に従う必要がある。

ウ：屋外灯の制御回路として用いられる。

エ：令和8年度実施問題No.9では、自動点滅器代用端子台と屋外灯回路の展開接続図が示されている。

総合解説：制御機器代用問題では、内部結線図と展開接続図を照合して端子機能を判断する。

Q077 6-3 / 6-3-2

難易度: 標準

制御回路・端子台・機器間配線

候補問題にMS（電磁開閉器）と運転表示灯が示されている。制御回路読解として適切な考え方はどれか。

- ア：主回路の開閉状態や制御接点の動作と表示灯の点灯条件を分けて追う。
- イ：MSは接地極の記号なので、表示灯とは無関係である。
- ウ：表示灯は必ず高圧主回路へ直列に入れる。
- エ：MSの主接点とコイル・補助接点はすべて同じ端子として扱う。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度候補問題にはMSと運転表示灯を組み合わせた回路例がある。

イ：MSは電磁開閉器を示す。

ウ：制御・表示回路の指定に従う必要がある。

エ：機能を区別して読む必要がある。

総合解説：制御回路では、主回路・操作回路・表示回路を色分けして追うと誤結線を減らせる。

Q078 6-3 / 6-3-2

難易度: 標準

制御回路・端子台・機器間配線

VCBとVCB補助接点を含む候補回路を複線化するとき、適切な考え方はどれか。

- ア：補助接点を高圧主電流の遮断接点として使う。
- イ：高圧主回路を遮断するVCB本体と、状態検出・表示等に用いる補助接点回路を分けて整理する。
- ウ：VCB本体は制御回路だけの小形スイッチとみなす。
- エ：補助接点は接地線の途中へ必ず直列接続する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：補助接点は主接点とは役割が異なる。

イ：令和8年度候補問題にはVCB補助接点を用いた回路が示される。

ウ：VCBは高圧主回路の遮断器である。

エ：そのような一般規則ではない。

総合解説：機器記号を見たら、主回路機能と制御・表示用接点を別レイヤーで読むことが重要である。

Q079 6-3 / 6-3-2

難易度: 標準

制御回路・端子台・機器間配線

制御回路の電線色について施工条件で具体的な指定がある。最も適切な対応はどれか。

- ア：制御回路は細い電線なので色別は採点されない。
- イ：黒色だけで全回路を作れば見やすいのでよい。
- ウ：自分の慣例よりも当日の施工条件を優先し、指定端子・回路に指定色を使用する。
- エ：端子番号が合っていれば色は自由である。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

- ア：色別は施工条件の一部である。
 - イ：指定された色別に従う必要がある。
 - ウ：技能試験では電線の色別が施工条件と相違したものを欠陥としている。
 - エ：施工条件で色指定があれば両方を満たす必要がある。
- 総合解説：回路が電氣的に成立していても、指定色と異なれば技能試験では不適切になる。

Q080 6-3 / 6-3-2

難易度: 標準

制御回路・端子台・機器間配線

複数の表示灯があり、それぞれ異なる相間・制御端子間へ接続するよう指定されている。誤配線を防ぐ方法として最も適切なものはどれか。

- ア：表示灯は同じ外観なので、全部同じ端子へまとめる。
- イ：先に全表示灯を取り付け、端子は余った電線で適当に決める。
- ウ：表示灯回路は採点対象外と考え、未結線にする。
- エ：表示灯ごとに『表示目的-接続端子-使用電線』を対応表にしてから結線する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

- ア：表示目的に応じて接続先が異なる。
 - イ：回路機能を満たせない可能性が高い。
 - ウ：未完成・誤結線となる。
 - エ：第一種実施問題では電源表示灯・運転表示灯などに異なる接続条件が与えられる。
- 総合解説：制御回路は似た端子・同色部品が多いため、機能単位の整理が有効である。

Q081 6-3 / 6-3-2

難易度: 応用

制御回路・端子台・機器間配線

押しボタンスイッチ等があらかじめ結線された状態で支給された。施工条件で変更指示がない場合の適切な扱いはどれか。

- ア：既設配線を勝手に取り除かず、その状態を前提に指定された外部配線を行う。
- イ：作業しやすいよう既設配線を全部外し、自分の配線へ置き換える。
- ウ：既設配線を切断し、余った線を接地線に転用する。
- エ：内部配線が見えにくいので器具を分解する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

- ア：欠陥判断基準では、支給品の既設配線を変更または取り除いたものを欠陥としている。
- イ：変更指示がなければ欠陥となる。
- ウ：支給品の用途外使用となる。
- エ：不要な加工や器具破損につながる。

総合解説：第一種の制御機器では『すでに内部・既設で結線されている部分』と『受験者が施工する部分』を区別する。

Q082 6-3 / 6-3-2

難易度: 応用

制御回路・端子台・機器間配線

開閉器代用端子台に電源側・負荷側が明記され、内部結線図も示されている。結線後の見直しとして最も適切なものはどれか。

- ア：左右対称なら正しいと判断し、端子表示は確認しない。
- イ：電源側と負荷側の端子、相・端子記号、内部結線との対応を回路の流れに沿って逆追跡して確認する。
- ウ：全端子をテスターで測定する。
- エ：端子台を分解して内部結線を作り直す。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

- ア：外観対称でも機能が異なる端子がある。
- イ：令和8年度実施問題No.5では、開閉器代用端子台に電源側・負荷側と内部結線が示されている。
- ウ：技能試験ではテスト等の計測器使用は禁止されている。
- エ：問題の代用端子台は示された内部結線を前提に使用する。

総合解説：完成後は『電源→制御機器→負荷』の順と逆順の両方で追うと、電源側・負荷側の入替えを見つけやすい。

Q083 6-3 / 6-3-3

難易度: 基礎

接地線・接地工事・識別

令和8年度第一種技能試験の複数の実施問題で、接地線として指定されている色はどれか。

- ア：白色。
- イ：黒色。
- ウ：緑色。
- エ：青色。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：白色は接地側電線として指定される例がある。

イ：黒色は非接地側や相線として指定される例がある。

ウ：実施問題No.1・No.5・No.9などの施工条件で、接地線は緑色を使用するよう指定されている。

エ：令和8年度の当該施工条件では、接地線は緑色と指定されており、青色ではない。

総合解説：接地線の緑色と、回路の接地側電線の白色は役割が異なるため混同しない。

Q084 6-3 / 6-3-3

難易度: 基礎

接地線・接地工事・識別

技能試験の配線で『接地側電線は白色』『接地線は緑色』と指定されている。この2つの関係として正しいものはどれか。

- ア：白色と緑色は同じ役割なので自由に入れ替える。
- イ：緑色を相線として用い、白色を接地極へつなぐ。
- ウ：接地側電線があれば保護接地線は必ず不要である。
- エ：白色は回路の接地側導体、緑色は機器等の保護接地に用いる線として区別する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：回路導体と保護接地線は役割が異なる。

イ：施工条件と逆になる。

ウ：接地極付器具等では別途保護接地線が必要な場合がある。

エ：令和8年度実施問題では、接地側電線と接地線を別々に色指定している。

総合解説：『接地側』という言葉に引っ張られて保護接地と混同しないことが、技能試験の色別ミス防止に重要である。

Q085 6-3 / 6-3-3

難易度: 標準

接地線・接地工事・識別

配線図にある接地点への電線が「E 5.5」と示され、別の接地点には「E 1.6」と示されている。適切な施工はどれか。

- ア：各接地点に図示された太さの緑色接地線を使い分ける。
- イ：接地線はすべて1.6mmに統一する。
- ウ：接地線はすべて5.5mm²へ統一すれば施工条件を無視してよい。
- エ：接地線サイズは色だけで決まるので図面を見なくてよい。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

- ア：令和8年度実施問題では、E 5.5とE 1.6など異なる接地線サイズを指定する例がある。
 - イ：図面の太さ指定に反する。
 - ウ：電氣的に太くても施工条件への適合が必要である。
 - エ：図面・材料表のサイズ指定を確認する必要がある。
- 総合解説：接地線は『緑色』だけでなく、太さと接続先まで指定条件に合わせる。

Q086 6-3 / 6-3-3

難易度: 標準

接地線・接地工事・識別

ねじなしボックスコネクタの接地用端子へボンド線を取り付ける際の適切な状態はどれか。

- ア：ボンド線を端子へ入れず、近くに置くだけにする。
- イ：ボンド線を正しい接地用端子へ十分に挿入し、ねじで確実に締め付ける。
- ウ：ねじを締めず、摩擦だけで保持する。
- エ：接地用端子以外の空いている穴へ差し込む。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

- ア：電氣的・機械的接続にならない。
 - イ：試験センター資料は、接地用端子への正しい挿入と確実なねじ締付けを確認事項としている。
 - ウ：欠陥となる。
 - エ：正しい位置以外への取付けは欠陥となる。
- 総合解説：ボンド線は細い線でも保安上重要であり、挿入位置と締付けを必ず確認する。

Q087 6-3 / 6-3-3

難易度: 標準

接地線・接地工事・識別

アウトレットボックスへボンド線を取り付ける場合、適切な施工はどれか。

ア：ボックスカバー取付用のビス穴へ適当に取り付ける。

イ：ロックナットに挟むだけで固定する。

ウ：所定の接地用取付ねじ穴へ確実に取り付け、引っ張って外れないよう締め付ける。

エ：ボックス外部へ巻き付け、ねじ止めしない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：所定の接地用取付ねじ穴以外は不適切である。

イ：試験センターの欠陥例に挙げられている。

ウ：欠陥判断基準では、接地用取付ねじ穴以外への取付けや、引っ張って外れるものを欠陥としている。

エ：確実な接続にならない。

総合解説：接地・ボンド工事では、導通だけでなく所定部品・所定位置への機械的に確実な固定が必要である。

Q088 6-3 / 6-3-3

難易度: 標準

接地線・接地工事・識別

試験問題に「金属管とジョイントボックスとを電氣的に接続することは省略する」と明記されている。適切な対応はどれか。

ア：一般論を優先し、支給材料にないボンド線を持ち込んで追加する。

イ：省略と書かれていても必ず金属管を接地線へ短絡する。

ウ：金属管そのものを作品から外す。

エ：その問題ではボンド工事を追加せず、指定どおり省略する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：支給品以外の材料使用と余分な工事になる。

イ：当日の施工条件に反する。

ウ：金属管工事自体が指定されている場合は施工する。

エ：令和8年度実施問題No.5には、金属管とジョイントボックスの電氣的接続を省略する条件がある。

総合解説：技能試験では実務一般論と当日の試験上の省略条件を区別し、指定された範囲だけを施工する。

Q089 6-3 / 6-3-3

難易度: 応用

接地線・接地工事・識別

問題文に「ジョイントボックス（アウトレットボックス）の接地工事は省略する」とある。このときの施工として最も適切なものはどれか。

ア：ボックスの接地線を追加せず、その他の指定された接地線だけを施工する。

イ：接地工事は重要なので、支給外材料で必ず追加する。

ウ：接地という言葉があるので、すべての緑色電線も省略する。

エ：ボックス自体の取り付けも必ず省略する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度実施問題では、ジョイントボックスの接地工事を省略すると明記する例がある。

イ：試験条件に反し、支給品以外の材料使用にもなる。

ウ：省略対象は指定されたボックス接地であり、他の接地線まで省略するとは限らない。

エ：接地工事の省略とボックス施工の省略は別である。

総合解説：省略指示は対象範囲を限定して読む。『一部接地省略』を『全接地省略』と誤読しないことが重要である。

Q090 6-3 / 6-3-3

難易度: 応用

接地線・接地工事・識別

作品完成後、接地関係を最終確認する方法として最も適切なものはどれか。

ア：緑色の線が作品内に1本あれば接地確認は完了とする。

イ：緑色接地線の接続先・太さ、白色接地側電線との区別、接地端子の締付け、省略指定の有無を図面と施工条件で照合する。

ウ：白色電線をすべて保護接地線とみなし、緑色線の接続先は確認しない。

エ：接地工事は見た目に影響しないため最終確認から除外する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：本数だけでなく接続先・太さ・締付けが重要である。

イ：令和8年度実施問題と技能試験注意資料では、接地線の色・太さ・接続先・省略条件や接地端子施工が個別に指定される。

ウ：接地側電線と保護接地線を混同している。

エ：保安上重要で、誤接続・施工条件違反の対象になる。

総合解説：第一種技能の接地確認は、色・サイズ・端子・省略範囲を一項目ずつ照合するチェックリスト方式が有効である。

Q091 6-4 / 6-4-1

難易度: 基礎

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

技能試験の欠陥判断基準で、「誤接続、誤結線」に該当する作品の扱いとして正しいものはどれか。

ア：欠陥として判定される。

イ：電線色が合っていれば誤結線でも欠陥にならない。

ウ：外観が整っていれば回路不成立でも合格できる。

エ：端子ねじが締まっていれば接続先は問われない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：公式の欠陥判断基準では「誤接続、誤結線のもの」を独立した欠陥項目としている。

イ：回路の誤接続・誤結線自体が欠陥である。

ウ：欠陥のない完成作品が合格条件である。

エ：機械的接続だけでなく回路構成も正しくなければならない。

総合解説：技能試験は見た目だけでなく、指定された回路が成立していることを確認する試験である。

Q092 6-4 / 6-4-1

難易度: 基礎

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

施工条件でコンセントの接地側極が指定されているのに、非接地側電線と接地側電線を逆に結線した。欠陥判断として正しいものはどれか。

ア：交流なので極性は一切問われず欠陥にならない。

イ：配線器具の極性が施工条件と相違するため欠陥となる。

ウ：器具が固定されていれば極性違いは許容される。

エ：接地線が緑色なら、コンセント極性は逆でもよい。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：技能試験では施工条件で指定された極性を守る必要がある。

イ：公式基準では、電線の色別や配線器具の極性が施工条件と相違したものを欠陥としている。

ウ：取付状態と極性は別の判定項目である。

エ：保護接地線と回路極性は別である。

総合解説：接地側・非接地側の識別は回路安全性に関わるため、W表示や施工条件を確認して結線する。

Q093 6-4 / 6-4-1

難易度: 基礎

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

試験終了時、指定された負荷回路の一部が未結線のまま残っていた。この作品の判定として正しいものはどれか。

ア：未結線部分が1か所だけなら自動的に許容される。

イ：残りの部分がきれいなら減点だけで合格できる。

ウ：未完成のものとして欠陥となる。

エ：試験終了後に続きを施工できる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：未完成は欠陥である。

イ：技能試験は減点方式ではなく、欠陥の有無で合否を判定する。

ウ：欠陥判断基準の第1項は「未完成のもの」を欠陥としている。

エ：終了指示後の作業継続は認められない。

総合解説：完成確認では、器具の取付けだけでなく、全ての指定回路が結線済みかを確認する。

Q094 6-4 / 6-4-1

難易度: 標準

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

2個の3路スイッチで1灯を点滅させる回路で、片方の共通端子と渡り端子を取り違えた。外観上は電線が全端子に接続されている。この作品の判断として最も適切なものはどれか。

ア：全端子に電線が入っているので欠陥ではない。

イ：渡り線の色だけ合っていれば接続先は問われない。

ウ：3路スイッチはどの端子を使っても同じ動作になる。

エ：指定どおりの3路回路が成立しないため、誤結線として欠陥になる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：端子数ではなく正しい回路が成立しているかが重要である。

イ：端子機能を守る必要がある。

ウ：共通端子と渡り端子は役割が異なる。

エ：技能試験では回路を的確に構成する能力が求められ、誤結線は欠陥である。

総合解説：3路回路では端子0と渡り端子を区別し、複線図で回路を確認してから施工する。

Q095 6-4 / 6-4-1

難易度: 標準

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

黒・白・赤の使用色は施工条件どおりだが、白線を本来とは別の端子へ接続して回路が誤っている。正しい判定はどれか。

- ア：色別が正しくても、接続先が誤っていれば誤結線として欠陥となる。
- イ：色だけ合っていれば回路の接続先は自由である。
- ウ：白線はどの回路でも同じ電位なので接続先を問わない。
- エ：誤接続は端子台だけに適用され、配線器具には適用されない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

- ア：色別と誤結線は別々の欠陥項目であり、両方を満たす必要がある。
 - イ：回路構成も施工条件に適合しなければならない。
 - ウ：回路によって役割が異なるため一律ではない。
 - エ：誤接続・誤結線は作品全体に関する欠陥である。
- 総合解説：確認時は『色別』と『行先』を別項目としてチェックする。

Q096 6-4 / 6-4-1

難易度: 標準

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

変圧器代用端子台で、一次側6,600Vの端子と二次側210/105Vの端子を取り違えて外部配線した。判定として最も適切なものはどれか。

- ア：代用端子台なので一次・二次の区別は採点されない。
- イ：端子台説明図と異なる誤結線であり欠陥となる。
- ウ：電線の太さが合っていれば接続先は自由である。
- エ：高圧側の端子なので、誤結線は外観欠陥にだけ分類される。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

- ア：代用品でも指定端子への正しい結線が必要である。
 - イ：令和8年度実施問題では一次側・二次側の端子関係が説明図で示され、誤結線は欠陥基準に該当する。
 - ウ：材料だけでなく回路・端子も指定どおりでなければならない。
 - エ：本質的には回路の誤接続・誤結線である。
- 総合解説：第一種では代用端子台の内部結線・電圧区分を読み間違えないことが重要である。

Q097 6-4 / 6-4-1

難易度: 標準

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

施工条件で負荷をS-T相間へ接続すると指定されているのに、R-S相間へ接続した。線間電圧が同じで負荷が動作するとしても、技能試験上の判定はどうか。

ア：同じ線間電圧なら完全に同一なので欠陥にならない。

イ：三相回路では相の指定は一切採点されない。

ウ：施工条件と異なる接続であり欠陥となる。

エ：表示灯だけが正しければ負荷回路の相違は許容される。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：指定された相間への接続を守る必要がある。

イ：相・色別・端子の指定がある場合は遵守する。

ウ：技能試験では電氣的に動作するだけでなく、配線図・施工条件どおりに回路を構成する必要がある。

エ：負荷回路自体の誤接続は欠陥である。

総合解説：技能試験では『動けばよい』ではなく、『指定された回路どおり』が基準になる。

Q098 6-4 / 6-4-1

難易度: 標準

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

電源表示灯と運転表示灯の接続先が別々に指定されている問題で、2灯の接続先を入れ替えた。判定として正しいものはどれか。

ア：どちらもランプなので点灯さえすれば欠陥ではない。

イ：ランプ色が合っていれば回路は入れ替えてよい。

ウ：表示灯回路は主回路ではないので採点対象外である。

エ：表示機能が施工条件と一致しないため、誤結線として欠陥となる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：表示目的と接続先が異なる。

イ：色と回路機能の双方を満たす必要がある。

ウ：作品の指定回路として採点対象となる。

エ：第一種技能では表示灯ごとの接続先が施工条件で指定される例があり、誤結線は欠陥である。

総合解説：制御・表示回路は『何を表示する灯か』まで確認して結線する。

Q099 6-4 / 6-4-1

難易度: 応用

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

タイムスイッチ代用端子台に内部結線が示されているのに、内部結線を無視して外部で全端子を短絡した。最も適切な判定はどれか。

ア：機器の機能を成立させない誤結線であり欠陥となる。

イ：短絡すれば導通が確実にになるので良い施工である。

ウ：端子台は代用品なので内部結線図は参考にすぎない。

エ：電線色が同じなら短絡してもよい。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：端子台代用問題では内部結線図を前提に外部配線する必要があり、誤接続は欠陥である。

イ：制御機能を壊し、指定回路と異なる。

ウ：当日の説明図・施工条件に従う必要がある。

エ：色だけで端子機能を判断できない。

総合解説：第一種の制御回路では、内部結線と外部結線を重ねて回路機能を確認する。

Q100 6-4 / 6-4-1

難易度: 応用

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

回路の接続先は正しいが、施工条件でリングスリーブ指定の接続箇所を差込形コネクタで接続した。最も適切な欠陥分類はどれか。

ア：回路が成立しているので欠陥はない。

イ：回路の誤結線ではなく、接続方法が施工条件に相違した欠陥である。

ウ：必ず配線器具の極性欠陥に分類される。

エ：寸法が50%以下の欠陥に分類される。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：接続方法の指定違反も欠陥である。

イ：公式基準では「誤接続・誤結線」と「接続方法が施工条件に相違」を別項目としている。

ウ：極性とは別の問題である。

エ：寸法ではなく接続方法の相違である。

総合解説：欠陥の原因を区別して理解すると、見直し時に『回路』『材料・方法』『色・極性』を漏れなく確認できる。

Q101 6-4 / 6-4-1

難易度: 応用

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

コンセントの接地側・非接地側を逆に結線し、さらに白黒の色別も施工条件と逆にした。この作品の考え方として最も適切なものはどれか。

ア：欠陥は必ず一作品につき1種類だけに限定される。

イ：色別違いがあれば、極性は自動的に正しいとみなされる。

ウ：極性・色別の施工条件相違に加え、回路上の接続内容も確認し、欠陥が複数重なり得る。

エ：どちらも軽微な外観差なので合否に影響しない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：複数の欠陥状態が同時に存在し得る。

イ：別々に確認する必要がある。

ウ：欠陥判断基準は色別・極性と誤接続・誤結線をそれぞれ規定している。

エ：施工条件相違は欠陥となる。

総合解説：完成確認では一つのミスを直ただけで安心せず、別の欠陥項目が残っていないか再確認する。

Q102 6-4 / 6-4-1

難易度: 標準

誤結線・回路不成立・極性の欠陥

技能試験ではテストなどの計測器を使用できない。回路不成立を防ぐ見直し方法として最も適切なものはどれか。

ア：自分のテストを持ち込み、導通だけ確認する。

イ：見直しは行わず、作業感覚だけで判断する。

ウ：他の受験者からテストを借りる。

エ：配線図・施工条件・端子台説明図を使い、電源から負荷まで導体の接続を目視で順に追跡する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：工具以外のテスト等の計測器は使用禁止である。

イ：誤結線を見落としやすい。

ウ：計測器使用だけでなく、他受験者からの工具借用も禁止されている。

エ：公式注意資料では計測器の使用を禁止しているため、図面と作品の照合による確認が重要になる。

総合解説：技能試験の最終回路確認は、図面との照合と目視による逆追跡を習慣化するとよい。

Q103 6-4 / 6-4-2

難易度: 基礎

圧着・被覆・端末処理の欠陥

1つのリングスリーブに2つ以上の圧着マークが付いている。欠陥判断基準ではどう扱うか。

ア：欠陥となる。

イ：圧着回数が多いほど良いので合格となる。

ウ：マークが2つなら許容、3つから欠陥となる。

エ：刻印数は一切判定されない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：公式基準では、1つのリングスリーブに2つ以上の圧着マークがあるものを欠陥としている。

イ：複数圧着マークは欠陥である。

ウ：2つ以上が欠陥である。

エ：明確な欠陥項目である。

総合解説：圧着をやり直す場合は同じスリーブを重ね圧着せず、新しい材料で再施工する。

Q104 6-4 / 6-4-2

難易度: 基礎

圧着・被覆・端末処理の欠陥

リングスリーブの上端から心線が5mm以上露出している作品の判定として正しいものはどれか。

ア：10mm未満なら必ず許容される。

イ：欠陥となる。

ウ：20mm以上だけが欠陥となる。

エ：心線は長いほど確認しやすいので制限はない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：上端側の基準は5mm以上で欠陥である。

イ：欠陥判断基準では、リングスリーブ上端から心線が5mm以上露出したものを欠陥としている。

ウ：20mmは別の項目に現れる数値である。

エ：過大露出は欠陥である。

総合解説：実際の練習では判定境界を狙わず、必要最小限の露出に整える。

Q105 6-4 / 6-4-2

難易度: 基礎

圧着・被覆・端末処理の欠陥

差込形コネクタを真横から見たとき、先端部分で心線が確認できない。欠陥判断として正しいものはどれか。

- ア：心線が見えない方が絶縁性が高いので良い。
- イ：下端に裸心線が見えれば先端は見えなくてよい。
- ウ：挿入不足の状態として欠陥となる。
- エ：差込形コネクタは外観確認をしない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：奥まで正しく挿入された確認ができない。

イ：下端の裸心線露出も欠陥となる。

ウ：公式基準では、コネクタ先端を真横から見て心線が見えないものを欠陥としている。

エ：先端と下端の目視確認が欠陥基準にある。

総合解説：差込接続は、先端側で心線が確認でき、下端側では裸心線が見えない状態に仕上げる。

Q106 6-4 / 6-4-2

難易度: 標準

圧着・被覆・端末処理の欠陥

ケーブル外装に縦方向の割れが生じた。欠陥判断基準で欠陥となる長さはどれか。

- ア：1 mm以上。微小な縦割れも一律に欠陥とみなす。
- イ：5 mm以上。端子露出など別項目の5 mmを流用する。
- ウ：50 mm以上。長い縦割れだけを欠陥とみなす。
- エ：20 mm以上。公式のケーブル外装縦割れ基準を適用する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：公式基準の数値ではない。

イ：公式基準の数値ではない。

ウ：欠陥となる境界はもっと短い。

エ：公式基準では、ケーブル外装の縦割れが20mm以上のものを欠陥としている。

総合解説：外装は内部絶縁電線を保護するため、加工時に割れを作らないことが重要である。

Q107 6-4 / 6-4-2

難易度: 標準

圧着・被覆・末端処理の欠陥

リングスリーブの下端から裸心線が10mm以上露出している。欠陥判断として正しいものはどれか。

- ア：絶縁被覆のむき過ぎとして欠陥となる。
- イ：上端側の基準なので下端側には制限がない。
- ウ：20mm以上にならないければ欠陥にならない。
- エ：心線露出は圧着部の強度を高めるため多いほどよい。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

- ア：欠陥判断基準では、リングスリーブ下端から心線が10mm以上露出したものを欠陥としている。
 - イ：下端側にも明確な基準がある。
 - ウ：下端側は10mm以上で欠陥である。
 - エ：不要な裸導体露出は不適切である。
- 総合解説：上端5mm、下端10mmという異なる基準を混同しない。

Q108 6-4 / 6-4-2

難易度: 標準

圧着・被覆・末端処理の欠陥

リングスリーブ接続部で、ケーブル外装のはぎ取り不足により、外装端からスリーブ下端までの絶縁被覆部分が20mm以下となっている。判定はどうか。

- ア：20mm以下ほど外装が接続部を保護するので良い。
- イ：欠陥となる。
- ウ：リングスリーブの大きさが合っていれば長さは問われない。
- エ：圧着マークが正しければ自動的に合格となる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

- ア：公式基準では欠陥である。
 - イ：欠陥判断基準では、ケーブル外装のはぎ取り不足により絶縁被覆が20mm以下となるものを欠陥としている。
 - ウ：末端処理も別途判定される。
 - エ：圧着と被覆処理の両方を満たす必要がある。
- 総合解説：圧着部はスリーブだけでなく、外装・絶縁被覆・裸心線の位置関係まで確認する。

Q109 6-4 / 6-4-2

難易度: 標準

圧着・被覆・端末処理の欠陥

端子台の低圧側で、端子台の端から裸心線が5mm以上露出している。欠陥判断として正しいものはどれか。

ア：高圧側だけに適用される基準なので問題ない。

イ：20mm未満なら低圧側も許容される。

ウ：欠陥となる。

エ：座金が締まっていれば露出量は問われない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：低圧側にも5mmの基準がある。

イ：20mmは高圧側の基準である。

ウ：公式基準では、低圧側端子台の端から心線が5mm以上露出したものを欠陥としている。

エ：保持状態と露出量は別々に確認する。

総合解説：端子台では高圧側20mm、低圧側5mmという違いを把握する。

Q110 6-4 / 6-4-2

難易度: 応用

圧着・被覆・端末処理の欠陥

リングスリーブのサイズは正しいが、絶縁被覆の上から圧着し、さらにより線の素線が一部スリーブ外へ出ている。最も適切な判定はどれか。

ア：スリーブサイズが正しいので他の状態は無視できる。

イ：素線が1本だけなら必ず許容される。

ウ：被覆を圧着すると絶縁性が高まるので良い施工である。

エ：複数の圧着・端末処理欠陥がある。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：サイズ以外の圧着状態も判定される。

イ：素線の一部が挿入されていないものは欠陥である。

ウ：導体を正しく圧着できないため欠陥である。

エ：絶縁被覆の上からの圧着、より線の素線未挿入はいずれも公式欠陥項目である。

総合解説：圧着確認は、スリーブ選定・刻印・心線挿入・被覆位置・素線状態を一つずつ見る。

Q111 6-4 / 6-4-2

難易度: 応用

圧着・被覆・末端処理の欠陥

ねじなし端子への結線で、一般の埋込配線器具と引掛シーリングローゼットでは心線露出の欠陥基準が異なる。正しい組合せはどれか。

ア：一般の対象器具は2mm以上、引掛シーリングローゼットは1mm以上で欠陥。

イ：一般器具は5mm以上、引掛シーリングは10mm以上。

ウ：どちらも20mm以上だけが欠陥。

エ：どちらも露出量の基準はない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：欠陥判断基準にこの区別が明記されている。

イ：公式基準と異なる。

ウ：ねじなし端子ではもっと小さい露出が欠陥となる。

エ：明確な基準がある。

総合解説：器具ごとに欠陥基準が異なるため、実際の施工ではストリップゲージを使い、心線を器具外へ露出させないようにする。

Q112 6-4 / 6-4-2

難易度: 標準

圧着・被覆・末端処理の欠陥

リングスリーブの先端付近を圧着したため、圧着マークの一部がスリーブ端から欠けている。判定として正しいものはどれか。

ア：マークの文字が少し読めれば必ず良い。

イ：圧着マークの一部が欠けたものとして欠陥となる。

ウ：スリーブが破断していなければ欠陥にはならない。

エ：二重圧着すれば自動的に修正できる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：圧着位置が不適切でマークが欠けたものは欠陥である。

イ：公式基準では、リングスリーブの先端または末端で圧着マークの一部が欠けたものを欠陥としている。

ウ：破損とは別に、圧着マーク欠けも欠陥項目である。

エ：二つ以上の圧着マークも欠陥になる。

総合解説：圧着位置をスリーブ中央付近に合わせ、端へ寄せすぎないことが重要である。

Q113 6-4 / 6-4-3

難易度: 基礎

寸法・外観・接地・施工条件の欠陥

配線図に示された寸法に対し、完成作品の寸法が50%以下になっている。欠陥判断として正しいものはどれか。

- ア：50%以下でも回路が成立すれば問題ない。
- イ：25%以下になったときだけ欠陥になる。
- ウ：寸法相違の欠陥となる。
- エ：寸法は一切採点されない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：寸法も独立した判定項目である。

イ：公式基準は50%以下である。

ウ：公式基準では、器具中心等からの寸法が配線図に示された寸法の50%以下のものを欠陥としている。

エ：明確な欠陥基準がある。

総合解説：完成寸法は見た目だけでなく、配線図どおりに施工する能力の判定対象である。

Q114 6-4 / 6-4-3

難易度: 基礎

寸法・外観・接地・施工条件の欠陥

作品の一部に、自分で持参した電線を使用した。施工自体は正しい。この作品の判定として正しいものはどれか。

- ア：同じ規格の電線なら自由に使用できる。
- イ：自分の材料の方が高品質なら欠陥にならない。
- ウ：工具と材料は同じ扱いなので何でも持ち込める。
- エ：支給品以外の材料を使用した欠陥となる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：試験では支給された材料のみを使用する。

イ：品質の高低ではなく支給品かどうかが基準である。

ウ：工具は自分で準備するが、作品材料は支給品のみを使用する。

エ：公式欠陥基準は、支給品以外の材料を使用したものを欠陥としている。

総合解説：材料と工具のルールを混同しない。作品に残る材料は原則として支給品だけである。

Q115 6-4 / 6-4-3

難易度: 標準

寸法・外観・接地・施工条件の欠陥

金属管とボックスとの接続部分を目視したところ、明らかな隙間がある。欠陥判断として正しいものはどれか。

- ア：金属管工事の接続不良として欠陥となる。
- イ：管が触れていれば隙間があってもよい。
- ウ：電線が通っていれば管の固定状態は問われない。
- エ：接地線があれば管とボックスは離れていてよい。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：欠陥判断基準では、管とボックスとの接続部分を目視して隙間があるものを欠陥としている。

イ：構成部品間の適切な接続が必要である。

ウ：管工事部分も採点対象である。

エ：接地と機械的接続は別の要件である。

総合解説：金属管工事は部品の順序だけでなく、管の固定・プッシング・ボックスとの密着まで確認する。

Q116 6-4 / 6-4-3

難易度: 標準

寸法・外観・接地・施工条件の欠陥

施工条件でボンド工事を行うよう指定されているのに、ボンド線を取り付けなかった。判定として正しいものはどれか。

- ア：金属管が固定されていればボンド線は不要である。
- イ：ボンド工事未施工として欠陥となる。
- ウ：白色の回路電線を代用すれば必ずよい。
- エ：ボンド工事は外観に関係しないため採点されない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：施工条件で指定されたボンド工事を行う必要がある。

イ：公式基準では、ボンド工事を行っていないものや、施工条件に相違してボンド線以外の電線で結線したものを欠陥としている。

ウ：指定に相違してボンド線以外を使うのは欠陥である。

エ：明確な欠陥項目である。

総合解説：ボンド工事は問題ごとに省略指定がある場合もあるため、実施・省略の条件を必ず確認する。

Q117 6-4 / 6-4-3

難易度: 標準

寸法・外観・接地・施工条件の欠陥

埋込連用取付枠に配線器具を1個だけ取り付けたが、中央ではなく上側へ取り付けた。欠陥判断として正しいものはどれか。

- ア：1個なら上下どこでもよい。
- イ：上側へ付けた方が配線しやすいので良い。
- ウ：取付枠の器具位置相違として欠陥となる。
- エ：取付枠は器具を固定できれば位置を問わない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

- ア：中央位置が基準である。
 - イ：作業性ではなく指定位置で判定する。
 - ウ：公式基準では、器具1個の場合に中央以外へ取り付けたものを欠陥としている。
 - エ：器具数に応じた位置基準がある。
- 総合解説：取付枠は表裏と器具数ごとの位置を確認してから器具を固定する。

Q118 6-4 / 6-4-3

難易度: 標準

寸法・外観・接地・施工条件の欠陥

ボックスの穴径と異なる大きさのゴムブッシングを取り付けた。欠陥判断として正しいものはどれか。

- ア：穴に押し込めればサイズ違いでもよい。
- イ：電線が傷付いていなければサイズは問われない。
- ウ：ブッシングは装飾部品なので採点されない。
- エ：ゴムブッシングの使用が適切でないため欠陥となる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

- ア：穴径に適合するブッシングを使用する。
 - イ：材料使用方法自体が判定対象である。
 - ウ：電線保護のための重要な部品である。
 - エ：公式基準では、ボックス穴の径とゴムブッシングの大きさが相違しているものを欠陥としている。
- 総合解説：材料表とボックス穴径を確認し、適切なブッシングを使う。

Q119 6-4 / 6-4-3

難易度: 応用

寸法・外観・接地・施工条件の欠陥

施工条件では金属管のボンド工事を省略すると明記されているが、受験者が独自判断で余分なボンド工事を追加した。最も適切な判定はどれか。

- ア：施工条件にない余分な工事に該当し、欠陥となり得る。
- イ：安全側なので、どんな追加工事でも必ず評価が上がる。
- ウ：接地に関する追加なら支給外材料を使ってもよい。
- エ：施工省略の指示は練習時だけ有効で、本番では無視する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：公式基準は、不要な工事・余分な工事・用途外の工事を欠陥としている。

イ：試験では指定された範囲を施工する必要がある。

ウ：支給外材料の使用も欠陥である。

エ：本番の施工条件が最優先である。

総合解説：技能試験は実務上の追加提案を評価する場ではなく、指定された条件を正確に施工する試験である。

Q120 6-4 / 6-4-3

難易度: 応用

寸法・外観・接地・施工条件の欠陥

作品は回路として正しく結線されているが、配線器具の配置が図と異なり、指定寸法が50%以下で、使用電線の種類も違っている。最も適切な判定はどれか。

- ア：回路が成立すれば外観・寸法・材料はすべて不問である。
- イ：回路が成立していても、配置・寸法・電線種類の各相違が欠陥となる。
- ウ：欠陥は最初に見つかった1項目だけで、残りは無視される。
- エ：電線種類だけ合っていれば配置と寸法は自由である。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：これらも採点対象である。

イ：公式基準は配置、寸法、電線種類、接続方法を個別の欠陥項目としている。

ウ：複数の欠陥状態が同時に存在し得る。

エ：すべての施工条件へ適合する必要がある。

総合解説：完成確認では回路だけでなく、配置・寸法・材料・施工方法を図面と順に照合する。

Q121 6-5 / 6-5-1

難易度: 基礎

材料・器具・工具の確認

技能試験開始前の材料確認として、公式注意資料に沿う行動はどれか。

- ア：問題冊子を勝手に開き、回路を先に確認する。
- イ：材料表を見ず、工具だけ確認する。
- ウ：監督員の指示に従い、試験問題表紙の材料表と材料箱の内容を照合する。
- エ：他の受験者の材料箱と交換して確認する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

- ア：試験開始前に問題を開くと不正行為となる。
 - イ：材料の不足・不備を開始前に確認する必要がある。
 - ウ：公式資料では、開始前に材料表と材料箱を照合して不足・不備を確認するよう求めている。
 - エ：各自に支給された材料を確認する。
- 総合解説：材料確認は試験開始前にできる重要な準備であり、後の材料不足による手戻りを防ぐ。

Q122 6-5 / 6-5-1

難易度: 基礎

材料・器具・工具の確認

材料確認中に、支給された器具の不良を発見した。最も適切な対応はどれか。

- ア：試験終了後に初めて申し出る。
- イ：自分で分解修理して使用する。
- ウ：持参した同型器具へ交換する。
- エ：試験開始前の材料確認中に監督員へ申し出る。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

- ア：開始前に確認・申告する必要がある。
 - イ：器具を勝手に改造・修理するのは不適切である。
 - ウ：支給品以外の材料は使用できない。
 - エ：公式資料では、不足・不備や不良品は材料確認中、試験開始前に申し出るよう示している。
- 総合解説：材料交換の可否が大きく制限されるため、開始前の目視確認は丁寧に行う。

Q123 6-5 / 6-5-1

難易度: 基礎

材料・器具・工具の確認

作品を作る材料について、技能試験のルールとして正しいものはどれか。

- ア：支給された材料のみを使用して作品を完成させる。
- イ：不足したら自宅から持参した電線を使う。
- ウ：同一規格なら自分のリングスリーブ以外の材料も自由に使用できる。
- エ：工具と材料は同じなので、どちらも全て持参する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：公式注意資料は、作業に必要な材料は全て支給され、自分で持ち込んだ材料の使用を禁止している。

イ：持込材料の使用は禁止されている。

ウ：作品材料は原則支給品を使用する。

エ：工具は受験者が準備するが、作品材料は支給される。

総合解説：『材料は支給、工具は自分で準備』という区別を明確にする。

Q124 6-5 / 6-5-1

難易度: 基礎

材料・器具・工具の確認

令和8年3月更新の公式注意資料で、技能試験に使用できないものはどれか。

- ア：手動ペンチ。
- イ：充電式電動ドライバなどの電動工具。
- ウ：手動圧着工具。
- エ：電工ナイフ。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：一般的な手工具は使用できる。

イ：技能試験は基本作業能力を確認するため、電動機能をOFFにして使う場合も含め電動工具を禁止している。

ウ：適正な手動圧着工具は使用できる。

エ：使用可能な手工具だが、けが防止の観点から取り扱いに注意する。

総合解説：電動工具の持参・使用は避け、必要な手工具を候補問題に応じて準備する。

Q125 6-5 / 6-5-1

難易度: 標準

材料・器具・工具の確認

試験開始後の材料交換・追加支給について、公式注意資料に沿うものはどれか。

ア：どの材料でも何度でも交換してもらえる。

イ：電線だけは無制限に追加支給される。

ウ：リングスリーブ、差込形コネクタ、端子ねじを除き、原則として交換・追加支給は行われない。

エ：工具が壊れた場合、センターが必ず代替工具を支給する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：交換・追加支給は大きく制限されている。

イ：電線は例外に含まれていない。

ウ：2026年3月版資料に、開始後はリングスリーブ、差込形コネクタ、端子ねじ以外の材料交換・追加支給を行わないとある。

エ：工具は受験者が準備する。

総合解説：材料の切り損じを避けるため、開始前確認と切断計画が重要になる。

Q126 6-5 / 6-5-1

難易度: 標準

材料・器具・工具の確認

試験中、自分のドライバを忘れたことに気付いた。他の受験者から借りる行為について正しいものはどれか。

ア：相手が了承すれば自由に借りられる。

イ：1分以内なら借用してよい。

ウ：電動工具だけ借用禁止で、手工具は借りてよい。

エ：他の受験者からの工具借用は禁止されている。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：公式ルールに反する。

イ：時間による例外は示されていない。

ウ：他受験者からの工具借用自体が禁止されている。

エ：公式注意資料では、必要工具を自分で用意し、他の受験者からの借用を禁止している。

総合解説：候補問題を確認し、必要な工具を事前に自分でそろえる。

Q127 6-5 / 6-5-1

難易度: 標準

材料・器具・工具の確認

圧着工具の持ち手を延長加工して力を入れやすくした。この工具の技能試験での扱いとして正しいものはどれか。

- ア：改造した工具に当たり、使用できない。
- イ：手動工具なので改造内容にかかわらず使用できる。
- ウ：黄色い持ち手なら改造してもよい。
- エ：他人が加工した工具なら自作ではないので使用できる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：公式注意資料は、持ち手を延伸した圧着工具など、改造工具や自作工具の使用を禁止している。

イ：改造工具は使用禁止である。

ウ：色ではなく改造の有無が問題となる。

エ：改造工具として扱われる。

総合解説：工具は市販・標準状態で適切に使用できるものを準備する。

Q128 6-5 / 6-5-1

難易度: 標準

材料・器具・工具の確認

技能試験での物品使用について、公式注意資料に沿う組合せはどれか。

- ア：テストもクリップも自由に作品へ残してよい。
- イ：テストなどの計測器は使用禁止だが、電線を一時的に束ねるクリップ等は使用でき、試験終了までに取り外す。
- ウ：テストは使用できるがクリップは禁止である。
- エ：計測器は工具扱いなので全て使用できる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：テストは使用禁止で、クリップは終了までに外す必要がある。

イ：公式資料は計測器の使用を禁止し、一時束ね用クリップは終了までに外す条件で使用可能としている。

ウ：公式ルールと逆である。

エ：工具以外の計測器等は使用禁止である。

総合解説：作品に残してよいものと、一時的な補助具、使用禁止物品を区別して準備する。

Q129 6-5 / 6-5-1

難易度: 応用

材料・器具・工具の確認

候補問題にはケーブル工事、金属管工事、合成樹脂管工事などが含まれ得る。工具準備の考え方として最も適切なものはどれか。

ア：前年の問題だけ見て、今年の候補問題は確認しない。

イ：工具は会場ですべて貸与される前提で準備しない。

ウ：最新年度の候補問題と公式注意資料を確認し、各工事種別の基本作業に必要な手工具を事前にそろえる。

エ：電動工具だけをそろえれば全工事に対応できる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：候補問題は毎年公開されるため最新年度を確認する。

イ：必要工具は受験者が用意する。

ウ：公式資料は候補問題を確認して必要工具を各自で用意するよう示し、候補問題には複数の工事種別がある。

エ：電動工具は使用禁止である。

総合解説：工具準備は『候補問題→必要作業→必要手工具』の順で漏れなく確認する。

Q130 6-5 / 6-5-1

難易度: 応用

材料・器具・工具の確認

受験者が、持参したVVF、充電式電動ドライバ、テスト、自分の手動ペンチを机上に準備した。公式ルールに照らして適切な整理はどれか。

ア：4つとも自由に作品作成へ使用できる。

イ：VVFだけ使用でき、ペンチは使用できない。

ウ：テストだけ使用でき、他は全て禁止である。

エ：持参VVF・電動ドライバ・テストは使用せず、適切な手動ペンチは使用できる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：複数の禁止事項に反する。

イ：材料と工具の扱いが逆である。

ウ：テストは使用禁止である。

エ：持込材料、電動工具、計測器は使用できない一方、通常の手工具は使用できる。

総合解説：本番前に工具箱を見直し、『持込材料なし・電動工具なし・計測器なし』を確認する。

Q131 6-5 / 6-5-2

難易度: 基礎

施工手順・時間配分・完成確認

技能試験の限られた作業時間で、完成後の確認時間も確保するための進め方として最も適切なものはどれか。

ア：施工条件と回路を最初に確認し、工程ごとの目安時間を決め、終盤に結線・接地・外観の確認時間を残す。

イ：最初の器具加工に時間を集中し、完成確認は時間が余った場合だけ行う。

ウ：候補問題の完成形を暗記し、当日の施工条件の変更は確認せず同じ手順で進める。

エ：配線をすべて接続してから初めて単線図と端子表示を確認する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：施工前に条件・回路を確認し、見直し時間を含めて配分することで手戻りと見落としを減らせる。

イ：完成確認を偶然の余り時間に任せると、欠陥の見落としを防ぎにくい。

ウ：候補問題は練習材料であり、当日の施工条件を確認せずに施工してはいけない。

エ：単線図や端子表示は加工・結線前から確認し、誤配線を予防する必要がある。

総合解説：技能試験では読図、加工、結線、完成確認までを制限時間内に行う。施工条件と回路を先に確認し、終盤に見直し時間を確保する計画が、誤結線や欠陥の発見に有効である。

Q132 6-5 / 6-5-2

難易度: 基礎

施工手順・時間配分・完成確認

監督員から「止めてください」と試験終了の指示があった。受験者の行動として正しいものはどれか。

ア：あと1本だけなら結線を続ける。

イ：直ちに全ての作業を終了する。

ウ：工具の使用だけ続け、材料加工は止める。

エ：監督員が見ていなければ続けてよい。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：終了後の作業継続は認められない。

イ：公式資料は終了指示で直ちに全作業を終了するよう求めており、終了後の作業継続は不正行為となる。

ウ：全ての作業を終了する必要がある。

エ：不正行為となる。

総合解説：時間切れを前提にせず、見直し時間を残すペースで作業する。

Q133 6-5 / 6-5-2

難易度: 基礎

施工手順・時間配分・完成確認

第一種電気工事士技能試験の合否について、公式注意資料に沿う説明はどれか。

- ア：欠陥が3個以内なら自動的に合格となる。
- イ：見た目が良ければ誤結線があっても合格する。
- ウ：欠陥のない作品が合格となる。
- エ：作業速度だけで合否が決まる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

- ア：そのような点数制ではない。
 - イ：誤結線は欠陥である。
 - ウ：作品の欠陥の有無を公式判断基準で判定し、その結果に基づいて合否が決定される。
 - エ：時間内完成に加え、欠陥のない作品が必要である。
- 総合解説：速度だけを追わず、欠陥を作らない再現性の高い手順を身につけることが重要である。

Q134 6-5 / 6-5-2

難易度: 標準

施工手順・時間配分・完成確認

試験開始直後の作業順序として、誤結線や材料切断ミスを減らすため最も適切な考え方はどれか。

- ア：問題を読まず、支給電線を全て先に切断する。
- イ：器具だけ先に全て分解してから回路を読む。
- ウ：前年の候補問題の記憶だけで施工を始める。
- エ：配線図・説明図・施工条件を確認し、回路と材料配分を把握してから切断・加工へ進む。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

- ア：材料不足や誤寸法の原因になる。
 - イ：不要な分解・手戻りにつながる。
 - ウ：当日の施工条件を確認する必要がある。
 - エ：公式資料は、回路構成、配線図・施工条件の理解、接続作業の3能力を重視している。
- 総合解説：短い読図時間を惜しまない方が、後工程のやり直しを減らし、結果的に時間を節約できる。

Q135 6-5 / 6-5-2

難易度: 標準

施工手順・時間配分・完成確認

「読図10分、施工40分、確認10分」のような細かな時間配分について、公式資料の扱いとして最も適切なものはどれか。

ア：試験時間60分は示されているが、各工程の最適な分数までは公式に固定されていないため、自分の技能に合わせて見直し時間を確保する。

イ：全受験者に公式の10・40・10分配分が義務付けられている。

ウ：時間配分を考えること自体が禁止されている。

エ：確認工程は公式に禁止されている。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：公式資料は総試験時間を示しているが、工程ごとの固定配分は定めていない。

イ：そのような固定配分は公式資料にない。

ウ：時間内完成のため各自の作業計画は有効である。

エ：欠陥防止のため確認は重要である。

総合解説：練習では自分の所要時間を計測し、読図・施工・見直しを60分内に収める再現可能な配分を作る。

Q136 6-5 / 6-5-2

難易度: 標準

施工手順・時間配分・完成確認

作品が完成した直後の見直し方法として最も適切なものはどれか。

ア：回路だけ確認し、端末処理は見ない。

イ：まず配線図どおりの回路かを追い、その後に色別・寸法・材料・接続方法・端末処理など欠陥項目を確認する。

ウ：外観だけ確認し、回路は確認しない。

エ：確認は1か所だけ行い、他は触らない。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：圧着・被覆・端子にも欠陥基準がある。

イ：公式資料が重視する回路構成・施工条件遵守・単位作業を分けて確認する方法である。

ウ：誤結線を見落とす。

エ：作品全体を系統的に確認する必要がある。

総合解説：見直しを『回路→施工条件→単位作業』に分けると、確認漏れを減らせる。

Q137 6-5 / 6-5-2

難易度: 標準

施工手順・時間配分・完成確認

試験時間終了前に作品を完成させた場合、公式注意資料に沿う行動として適切なものはどれか。

ア：すぐに会場を自由に退出する。

イ：他の受験者の作品を手伝う。

ウ：受験番号札の取付けや整理整頓、作品の見直しを行い、監督員の指示に従う。

エ：電動工具を使って仕上げをやり直す。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：退出は監督員の指示に従う。

イ：他受験者への介入は不適切である。

ウ：公式資料は、早く終わった場合に受験番号札の取付けや整理整頓を行うよう案内している。

エ：電動工具は使用禁止である。

総合解説：早く完成した時間は、回路・端末・施工条件の再確認に充てるのが安全である。

Q138 6-5 / 6-5-2

難易度: 標準

施工手順・時間配分・完成確認

電線を一時的に束ねるために使用したクリップを、試験終了時にどう扱うべきか。

ア：作品の一部として残してよい。

イ：金属製なら接地線として残してよい。

ウ：端子台の補強材として残す。

エ：試験終了までに作品から取り外す。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：終了までに取り外す必要がある。

イ：用途外の使用になる。

ウ：支給材料ではない補助具を作品へ残すべきではない。

エ：公式注意資料では、一時束ね用クリップ等は使用可能だが終了までに必ず取り外すとしている。

総合解説：見直しチェックに『一時使用した補助具を残していないか』を加える。

Q139 6-5 / 6-5-2

難易度: 応用

施工手順・時間配分・完成確認

60分の技能試験で、材料切断ミスと誤結線の両方を減らしたい。最も合理的な進め方はどれか。

ア：施工条件を読み、複線化・端子行先・材料配分を決め、単位作業ごとに加工し、節目で確認して最後に全体を見直す。

イ：最初に全材料を目測で切断し、最後に回路を考える。

ウ：器具を全て取り付けた後、余った電線で回路を作る。

エ：見直し時間を0分にして施工だけに全時間を使う。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：公式資料が示す3つの能力を順序立てて使う方法で、無計画な切断や一括結線より手戻りを減らしやすい。

イ：材料不足や誤寸法を招きやすい。

ウ：回路計画が後回しになり誤配線しやすい。

エ：欠陥の発見機会を失う。

総合解説：正確な手順は速度向上にもつながる。練習では同じ順序で反復し、自分の標準手順を作る。

Q140 6-5 / 6-5-2

難易度: 応用

施工手順・時間配分・完成確認

試験終了が近づき、作品は完成しているが見直しが十分でない。残り時間の使い方として最も適切なものはどれか。

ア：見た目を整えるため電線を全て切り直す。

イ：回路不成立につながる誤結線、施工条件相違、圧着・端子・接地など重大な欠陥項目を優先して系統的に確認する。

ウ：終了指示後も確認と修正を続ける前提で作業する。

エ：回路確認をせず机上の切り屑だけを長時間並べ替える。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：不用意な再施工は新たな欠陥や未完成を招く。

イ：技能試験は欠陥のない完成作品が合格条件であるため、完成後は欠陥判断基準を意識した確認が重要である。

ウ：終了後の作業継続は認められない。

エ：作品の欠陥確認を優先すべきである。

総合解説：最後の確認は、合否へ直結する欠陥を優先し、修正する場合も残り時間とリスクを見て判断する。

Q141 6-5 / 6-5-3

難易度: 基礎

年度別候補問題パターン・総合判断

第一種電気工事士技能試験の候補問題について、公式資料が推奨する学習姿勢として正しいものはどれか。

- ア：一度覚えた年度の候補問題を永久に使い、最新年度は確認しない。
- イ：候補問題は本試験と無関係なので確認しない。
- ウ：候補問題は毎年公開されるため、受験年度の最新候補問題を確認する。
- エ：前年の解答だけ見れば今年の施工条件も完全に同じである。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

- ア：年度ごとに最新候補問題を確認する必要がある。
 - イ：本試験は候補問題の中から出題される。
 - ウ：2026年3月版の公式資料は、候補問題は毎年公開されるので必ず最新のものを確認するよう案内している。
 - エ：詳細・配置等に変更され得る。
- 総合解説：過年度問題は技能練習に使えるが、本番対策の基準は受験年度の公式候補問題である。

Q142 6-5 / 6-5-3

難易度: 基礎

年度別候補問題パターン・総合判断

令和7年度（2025年度）と令和8年度（2026年度）の第一種電気工事士技能試験候補問題について、公式公表資料で共通するものはどれか。

- ア：2025年度は5種類、2026年度は20種類である。
- イ：2025年度は13種類、2026年度は1種類である。
- ウ：候補問題数は非公開である。
- エ：どちらもNo.1～No.10の10種類が公表されている。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

- ア：両年度とも10種類である。
 - イ：公式公表内容と異なる。
 - ウ：公式にNo.1～No.10が公表されている。
 - エ：両年度の公式候補問題公表資料で、No.1～No.10が示されている。
- 総合解説：年度比較では、数だけでなく当年の配線図・施工条件の差分を確認する。

Q143 6-5 / 6-5-3

難易度: 基礎

年度別候補問題パターン・総合判断

令和7年度と令和8年度の第一種技能試験候補問題を年度比較して学習するとき、最も適切な活用方法はどれか。

ア：共通する回路パターンや器具の役割を整理しつつ、実際の施工条件・寸法・端子指定は受験年度の本番問題で確認する。

イ：前年と候補問題番号が同じなら、施工条件や寸法も完全に同一とみなす。

ウ：候補問題は年度ごとの差だけを暗記し、回路構成や端子関係は確認しない。

エ：候補問題が公表されているため、本番で追加される施工条件はないとみなす。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：年度比較では共通パターンを学習しつつ、最終的な施工は受験年度・当日の施工条件に従う必要がある。

イ：候補問題番号が同じでも、年度や本番の施工条件まで完全同一とは限らない。

ウ：差分だけの暗記では、回路の理解や条件変更への対応力が身に付かない。

エ：候補問題公表だけで本番の全施工条件が固定されるわけではなく、当日の条件確認が必要である。

総合解説：候補問題の年度比較は、頻出する回路構成や器具の役割を整理するために有効である。一方、寸法・端子指定・施工条件は受験年度の公式資料と当日の問題で確認し、暗記だけで施工しないことが重要である。

Q144 6-5 / 6-5-3

難易度: 標準

年度別候補問題パターン・総合判断

候補問題の配線図を練習した後、本番問題で器具配置や施工条件の詳細が異なっていた。最も適切な対応はどれか。

ア：候補問題の練習時配置を優先する。

イ：本番の試験問題に明記された配線図・説明図・施工条件を優先する。

ウ：違いがある部分は受験者が自由に決める。

エ：配置が変わった問題は採点対象外になる。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：本番の問題指示が最優先である。

イ：令和8年度候補問題公表資料は、配線図・施工条件等の詳細は試験問題に明記し、機器・器具配置を変更する場合があるとしている。

ウ：本番の施工条件に従う必要がある。

エ：配置変更はあらかじめ公表されている可能性である。

総合解説：候補問題対策は、完成形の丸暗記ではなく差分を読み替える練習まで含める。

Q145 6-5 / 6-5-3

難易度: 標準

年度別候補問題パターン・総合判断

令和8年度候補問題の配線図について、総合練習で身につけるべき能力として最も適切なものはどれか。

ア：線が1本なら必ず心線1本だけで施工する。

イ：単線図は記号だけ暗記し、回路関係は考えない。

ウ：電線本数にかかわらず単線図で示された回路を、施工条件に従って必要な複線・端子接続へ展開する。

エ：本番では単線図の線をそのまま1本の電線として再現する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：単線図の線数と実心線本数は一致しない。

イ：回路を的確に構成する能力が必要である。

ウ：候補問題公表資料は、配線図は電線本数にかかわらず単線図で示すとしている。

エ：施工条件から必要な心線数を判断する。

総合解説：候補問題演習では毎回自分で複線化し、電線本数と接続点を説明できる状態を目標にする。

Q146 6-5 / 6-5-3

難易度: 標準

年度別候補問題パターン・総合判断

令和8年度候補・実施問題に見られる第一種らしい三相高圧回路の学習ポイントとして最も適切なものはどれか。

ア：100V単相照明だけを練習すれば十分である。

イ：高圧側は図面に出ても施工とは一切関係しない。

ウ：三相回路では端子・相・色別を確認する必要がある。

エ：3φ3W 6,600Vの高圧側、変圧器代用端子台、低圧三相回路、表示・制御条件を一体で読み取る。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：第一種では高圧・三相・制御を含む問題がある。

イ：KIP等を用いた高圧側模擬施工がある。

ウ：施工条件に応じた相・色別の確認が必要である。

エ：令和8年度の候補問題と上期実施問題No.5では、三相6,600V系統と代用端子台・低圧回路等を組み合わせた構成が確認できる。

総合解説：第一種では高圧受電と低圧負荷・制御を同一作品でつなぐ読解力を鍛える。

Q147 6-5 / 6-5-3

難易度: 標準

年度別候補問題パターン・総合判断

令和8年度の技能問題で、タイムスイッチや自動点滅器が端子台で代用されるタイプを練習するとき、最も重要なことはどれか。

ア：端子台の内部結線・端子記号と、外部の照明・制御回路を対応させて読む。

イ：端子台は全端子が同電位として暗記する。

ウ：端子番号を無視し、同じ色の線だけまとめる。

エ：制御機器は候補問題に含まれないので練習不要である。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ア

ア：令和8年度実施問題No.9では、タイムスイッチ・自動点滅器を端子台で代用し、内部結線が説明されている。

イ：内部結線は機器機能に応じて異なる。

ウ：端子機能を確認する必要がある。

エ：第一種では制御機器を含む候補・実施問題がある。

総合解説：端子台代用問題では、実機の名前を暗記するだけでなく『端子間がどう動作するか』を図で追う。

Q148 6-5 / 6-5-3

難易度: 標準

年度別候補問題パターン・総合判断

2025年度の候補問題・実施問題を2026年度受験対策に使う場合、最も適切な使い方はどれか。

ア：2025年度だけを完全暗記し、2026年度資料は見ない。

イ：基本施工や読図練習には活用しつつ、本番対策の最終基準は2026年度の最新候補問題・注意資料とする。

ウ：過年度問題は技能向上に全く役立たないので全て捨てる。

エ：前年と同じ番号なら施工条件も完全に同一と決めつける。

正答・4肢解説・総合解説

正答：イ

ア：最新年度の候補問題確認が必要である。

イ：公式資料は候補問題を毎年公開し、最新のものを確認するよう求めている。

ウ：基本作業の反復教材としては活用できる。

エ：年度や本番で詳細が変わる可能性がある。

総合解説：過年度は『技能の量稽古』、当年度候補は『本番仕様の確認』として役割を分けるとよい。

Q149 6-5 / 6-5-3

難易度: 標準

年度別候補問題パターン・総合判断

候補問題No.1～No.10を効率よく学ぶ方法として、公式資料の出題意図に最も合うものはどれか。

ア：10種類を完成形の写真だけで丸暗記する。

イ：1種類だけ練習し、他の候補問題は見ない。

ウ：各問題固有の回路を練習しつつ、回路構成・施工条件遵守・接続作業という共通技能を横断して反復する。

エ：欠陥基準は本番後にだけ確認する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：ウ

ア：条件変更への対応力が育ちにくい。

イ：本試験はNo.1～No.10の中から出題される。

ウ：2026年3月版資料は技能試験で重視する能力として、回路構成、配線図・施工条件の理解遵守、接続等の作業を挙げている。

エ：練習段階から欠陥基準を意識する必要がある。

総合解説：候補問題ごとの差分と、全問題に共通する単位作業の両方を整理すると効率がよい。

Q150 6-5 / 6-5-3

難易度: 応用

年度別候補問題パターン・総合判断

令和8年度第一種電気工事士技能試験へ向けた最終対策として、最も適切な組合せはどれか。

ア：前年の完成写真1枚だけを暗記し、欠陥基準は見ない。

イ：候補問題を読まず、工具の速度練習だけを行う。

ウ：欠陥基準だけを暗記し、作品を一度も作らない。

エ：最新候補問題No.1～No.10を一通り施工し、2026年3月版注意資料と欠陥判断基準で自己点検し、過去の実施問題で条件変更への対応も練習する。

正答・4肢解説・総合解説

正答：エ

ア：年度差・施工条件差・欠陥への対応が不足する。

イ：回路構成と条件読解も重視される。

ウ：実際の単位作業を時間内に行う技能練習も必要である。

エ：公式候補問題・最新注意資料・欠陥基準・過去実施問題を組み合わせることで、当年度範囲と実際の施工条件の両方を確認できる。

総合解説：最終段階では『当年度の候補問題』『公式欠陥基準』『実施問題』『時間内の反復施工』を一つの学習サイクルにする。